

教育に関する事務の点検・評価報告書

(平成28年度実績)

平成29年12月
富田林市教育委員会

～ はじめに ～

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、『全ての教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し議会に提出するとともに、公表しなければならない』こととされました。

この報告書は、同法の規定に基づき、本市教育委員会が実施した平成28年度事業の内、主な事業を対象に点検・評価を行った結果をまとめたものです。

本市教育委員会では、今回の点検・評価の結果について、市民の皆様にご公表することにより、さまざまなご意見をいただき、次年度以降の施策や事業に反映させ、今後の事務改善に活かすよう努めてまいりたいと考えておりますので、市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

富田林市教育委員会

《参 考》

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当っては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

《 目 次 》

1. 教育委員会の活動概況	1～5
2. 学校教育	
(1) 幼児教育・学校教育の充実	6～7
(2) 健やかで豊かな人間性を育む教育	8～9
(3) 学校力の向上	10～11
(4) 学校給食の推進	12～14
(5) 施設等の整備	15～16
3. 生涯学習	
(1) 生涯学習の推進	
①生涯学習・社会教育事業	17～18
②青少年対策事業	19～21
③市民文化の振興	22～23
④図書館活動	24～27
⑤公民館活動	28～29
(2) スポーツ振興	30～31
(3) 文化財の保存と活用	32～33
(4) 施設等の整備	34～36
4. 学識経験者等の意見	37～42
5. 資料編	43～55

【1. 教育委員会の活動概況】

(1) 教育委員会の構成 (平成29年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	芝本 哲也	平成27年12月7日～平成30年12月6日
教育長職務代理者	阪井 千鶴子	平成25年10月1日～平成29年9月30日
委員	益田 耕吉	平成26年10月1日～平成30年9月30日
委員	仲野 務	平成28年10月1日～平成31年9月30日
委員	山元 直美	平成28年10月1日～平成32年9月30日

(2) 教育委員会会議等

区分	日程	付議案件等
委員研修	平成28年4月5日	市町村教育委員会委員長・教育長会議 (アウィーナ大阪)
4月定例会	平成28年4月28日	富田林市公私立幼稚園連絡協議会委員の委嘱・任命 について(他6件)
5月定例会	平成28年5月26日	富田林市奨学金審査会委員の委嘱・任命について (他9件)
6月定例会	平成28年6月30日	平成29年度使用教科用図書の採択について (他10件)
総合教育会議	平成28年6月30日	富田林市総合教育会議設置要綱について(他3件)
7月定例会	平成28年7月25日	富田林市学校給食センター運営委員会委員の委 嘱・任命について(他3件)
委員研修	平成28年8月4日	教育ICT研修
8月定例会	平成28年8月24日	平成28年度大阪府富田林市一般会計補正予算につ いて(他1件)
委員研修	平成28年8月31日	南河内地区市町村連絡協議会 教育長研修会
総合教育会議	平成28年9月1日	富田林市教育大綱(素案)に対するパブリックコメ ントの実施結果について(他1件)
9月定例会	平成28年9月29日	平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の公表 について(他3件)
10月定例会	平成28年10月26日	富田林市教育委員会事務局事務分掌規則の一部を 改正する規則について(他5件)
委員研修	平成28年10月31日	金剛中学校道徳研究会視察

委員研修	平成 28 年 11 月 8 日	大阪府市町村教育委員会研修会（アウィーナ大阪）
委員研修	平成 28 年 11 月 14 日	大阪府都市教育長協議会秋季研修会
委員研修	平成 28 年 11 月 17 日	南河内地区市町村教育委員研修（近つ飛鳥博物館）
11 月定例会	平成 28 年 11 月 24 日	教育に関する点検・評価報告書（案）について （他 2 件）
12 月定例会	平成 28 年 12 月 22 日	富田林市富田林伝統的建造物群保存地区保存計画 の一部改正について（他 4 件）
12 月臨時会	平成 28 年 12 月 22 日	公益財団法人 富田林市文化振興事業団職員の懲 戒処分について
委員研修	平成 29 年 1 月 23 日	大阪府都市教育委員会代表者研修会
委員研修	平成 29 年 1 月 26 日	川西小学校 授業視察
1 月定例会	平成 29 年 1 月 26 日	富田林市就学指導推進委員会規則の一部改正につ いて（他 4 件）
2 月定例会	平成 29 年 2 月 23 日	富田林市教育委員会規則・要綱で定める様式におけ る敬称の表示を改める規則・要綱について （他 3 件）
3 月定例会	平成 29 年 3 月 30 日	富田林市立図書館管理運営規則の一部改正につい て（他 2 件）

（3）その他の主な行事・会議

開催月	行事・会議名
平成 28 年 4 月	富田林市長杯争奪少年軟式野球大会開会式
	平成 28 年度富田林市教育方針説明会
	市立幼稚園入園式・市立小学校入学式・市立中学校入学式
	富田林市体育協会総会
	大阪府都市教育長協議会総会・4 月定例会
	富田林市野外活動協会総会
	富田林市少年スポーツ連盟総会
	南河内地区人事協議会
	富田林市小学校給食会理事会
	近畿都市教育長協議会定期総会
	富田林市レクリエーション協会総会
	中央・東・金剛公民館クラブ連絡会総会
	富田林市こども会育成連絡協議会総会

平成 28 年 4 月	富田林市婦人団体連絡協議会・府エイフボランティアネットワーク 富田林支部総会
平成 28 年 5 月	第 64 回富田林市民体育大会開会式
	富田林文化団体協議会総会
	大阪府都市教育委員会連絡協議会役員会
	市教育研究会・市人権教育研究会総会
	富田林市青少年指導員連絡協議会総会
	富田林ベスレヘム姉妹都市協会総会
	富田林市 PTA 連絡協議会理事総会
	富田林寺内町をまもり・そだてる会総会
	富田林市中学校給食会理事会
	富田林市文化振興基金審査委員会
	大阪府都市教育委員会連絡協議会定期総会
	市立東条小学校運動会
平成 28 年 6 月	市立各小学校運動会
	学校安全確保の日
	第 6 回石上露子生誕祭
	2016 富田林ドリームフェスティバル記者発表会
	富田林市立幼稚園・市立保育所あり方検討委員会
	第 36 回生徒指導研究集会
平成 28 年 7 月	大阪府都市教育長協議会定例会
	富田林市立公民館運営審議会
	富田林市立図書館協議会
	南河内地区市町村教育長連絡協議会・地区人事協議会
	富田林市社会教育委員会会議
	富田林市就学指導推進委員会
	富田林市奨学金審査委員会
	富田林市立学校給食センター運営委員会
	大阪府府都市教育長協議会夏季研修会及び定例会
	2016 富田林ドリームフェスティバル
	第 34 回東公民館「納涼の夕べ」
	市教育講演会

平成 28 年 8 月	第 32 回平和を考える戦争展
	市立学校給食センター建替え地元説明会
	第 20 回富田林市混声合唱団定期演奏会
	滝畑キャンプ訪問
	大阪府都市教育委員会連絡協議会役員会
	大阪府府都市教育長協議会夏季研修会及び定例会
	リーダーシップ研修
	第 13 回富田林寺内町燈路
	民生委員制度 70 周年記念式典
平成 28 年 9 月	第 37 回富田林市長杯争奪少年サッカー大会開会式
	第 27 回富田林市民スポーツ・レクリエーション祭総合開会式
	各中学校体育大会
	交換留学生報告会
	富田林市戦没者追悼式
平成 28 年 10 月	各幼稚園運動会
	大阪府都市教育長協議会定例会
	体育の日記念事業
	地区指導主事研修会
	市総合防災訓練
	市民文化祭
	近畿都市教育長協議会研究協議会
平成 28 年 11 月	町総代 60 周年記念式典
	第 2 回富田林市立図書館協議会
	連合運動会
	大阪府都市教育委員会連絡協議会役員会
	連合音楽会
	公民館まつり
	大阪府都市教育長協議会予算要望説明会
	英語弁論大会
	大谷大学創立 50 周年記念式典
	平成 28 年度「こども作品展」表彰式
平成 28 年 12 月	部落解放富田林研究集会
	第 66 回富田林市民マラソン大会

平成 29 年 1 月	大阪府都市教育長協議会定例会
	平成 29 年富田林成人式「はたちのつどい」
	富田林市 PTA 大会
平成 29 年 2 月	市民公益活動推進本部会議
	富田林市少年スポーツ連盟 40 周年記念式典
	第 60 回南大阪駅伝競走大会
	富田林市文化財調査会、及び富田林市環境保全審議会歴史・文化的環境部会
	「とっぴーと読もう！」読書感想文コンクール表彰式
	府立金剛高校卒業式
	富田林市立幼稚園・市立保育所あり方検討委員会
	府立富田林高校卒業式
平成 29 年 3 月	富田林病院建て替えに関する説明会
	第 11 回じないまち雛めぐり
	市立幼稚園卒園式・市立小学校卒業式・市立中学校卒業式
	富田林市文化振興基金審査委員会
	富田林市社会教育委員会会議
	美術協会創立 20 周年記念式典
	富田林市伝統的建造物群保存審議会

【2. 学校教育 (1) 幼児教育・学校教育の充実】

1. 施策・事業の概要

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成
- (2) 明るく楽しい学校園づくり

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成について

全幼稚園で園内研究保育等を行い「きめ細かな一人一人の育ちを促す保育」を実施した。また、小学校1、2年生と6年生や、中学校3年生を中心とした少人数学級編制や、少人数加配を活用した少人数・習熟度別指導、あるいは、ALTの配置による英語教育・外国語活動の推進を図り、きめ細かな指導の充実とグローバル人材の育成に努めた。更には、「教育カウンセラー」を配置し、児童・生徒及び保護者からの相談の対応等と経験年数の浅い教員等の指導力向上に取り組み、確かな学力の育成を進めた。

- (2) 明るく楽しい学校園づくりについて

全校園で定期的に「悩みの相談アンケート」、「個別カウンセリング」等を実施し、いじめ等の問題行動事象の未然防止と早期発見・早期解決のための体制構築、関係機関との連携を図った。また、長期欠席及び不登校傾向にある子どもの状況の把握や改善のため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用に取り組んだ。とりわけ、スクールソーシャルワーカーについては、市費にて3名を6小学校に配置、1名を他の小中学校に派遣し、子どもや保護者が抱え込んでいる悩みを学校と関係機関との連携により把握するとともに、迅速な支援につなげた。

【資料編 48 ページ参照】

3. 点検結果・評価

- (1) 市教委主催による各種研修会の実施や各校園における研修により、子ども一人一人の育ちを促す指導を推進することができた。具体的に幼稚園においては、集団の中で支援を必要とする園児へのサポートのあり方への研究が進み、保育のさらなる充実へとつながった。また、小中学校において市単費講師の雇用、ALTの派遣により、少人数学級編制や少人数・習熟度別指導、英語教育・外国語活動を更に充実させることができ、きめ細かな指導を推進することができた。
- (2) いじめ等の事象の認知件数については、33件となり、この10年間で最も多い件数となった。これらの要因としては、軽微な事案についてもいじめの可能性を否定せずに子どもからの聞き取りや状況把握を行い、いじめと考えられる要素について丁寧に拾い上げたことが結果として表れたと考えられる。あわせて各校において、こ

れまで以上に早期発見・対応や継続的な見もりについても進めている。

また、インターネット上のいじめについては、未然防止のための働きかけが重要であることから、各小中学校において、ネット利用に関する啓発や研修を実施した。長期欠席及び不登校傾向にある児童・生徒については、主な要因として「無気力」「不安」「人間関係の課題」「家庭に係る状況」等が挙げられる。各校で未然防止策も含め積極的に取り組みを進めており、昨年度に比べ中学校において不登校生徒数が8名減少し、小学校でも6名減少した。減少の理由については、スクールソーシャルワーカーの配置、あるいは長期化した子どもについて、適応指導教室と学校による継続的な連携による効果等が考えられる。

4. 課題・方向性

- ・一人一人の育ちを促す指導の実践・推進のため、今後さらに各種研修会を充実させるよう計画・実施していく。
- ・今後も少人数学級編制や少人数・習熟度別指導を充実させ、きめ細かな指導を進める。
- ・不登校及びいじめ等問題事象の未然防止に向け、学校における「居場所づくり」「つながりづくり」の取組をこれまで以上に充実させる。そのために、子ども同士が人間関係を深められるよう、集団づくりの研究を進める。
- ・インターネット利用の低年齢化が進んでおり、保護者・子どものネットの危険性に対する理解がますます重要であることから、今後も各校において保護者への啓発や発達段階に応じた児童・生徒への指導を推進する。
- ・不登校数については、平成28年度は減少傾向に転じたが、全児童生徒数が減少傾向にあることから、資料(P48)のとおり、不登校率は依然として高止まりである。「無気力」「不安」「人間関係の課題」を抱える子どもへの対応については、アンケートや学校全体でのきめ細やかな見守りによる早期発見に努めるとともに、教員とスクールカウンセラーによるケースカンファレンス等を行い、一人一人の丁寧なケアを進める。
- ・不登校が長期化する児童・生徒については、適応指導教室との継続した連携による学校復帰の取組を進めるとともに、中学校3年生にあつては、生徒一人一人の状況と将来について、保護者との相談体制を十分にとり、よりよい進路選択に向けて、取組を進める。
- ・「家庭に係る状況」に起因すると思われるケースについては、スクールソーシャルワーカーを活用した組織的対応についてのさらなる研究を、配置校において進める。また、その成果や実践事例を研修会等において市全体に広げ、各校における生徒指導体制のさらなる充実のために、これまで以上にスクールソーシャルワーカーの活用を推進する。

【 2. 学校教育 (2) 健やかで豊かな人間性を育む教育 】

1. 施策・事業の概要

- (1) 人権尊重の教育の推進
- (2) 支援教育の推進
- (3) 人間性を育む教育の推進

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 人権尊重の教育については、「同和教育基本方針」、「人権教育基本方針」、「人権教育推進プラン」に基づき、総合的な人権教育を推進した。また、各種研究会等と連携して、人権教育を担う次世代の育成を行った。
- (2) 「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する富田林市立学校職員対応要領」を制定し、各学校への周知を行った。
- (3) 支援教育については、積極的に巡回相談を実施し、保護者や学校に対して、支援の在り方や指導方法についての助言を行った。また、自閉症や発達障がい等、さまざまな障がいについての理解と支援に関して、幼小中の教職員を対象に研修会を開催し、教職員の指導力向上と校内体制づくりを図るための支援や校種間連携の強化を行った。
- (4) 保護者や関係機関が連携して支援を行うためのツールとしてつくられた「つながるファイル」の活用を促進した。さらに、「つながるファイル」の活用について、本市関係各課で協働して取り組み、市民向けと支援機関向けの説明会を開催した。
- (5) 生活科や総合的な学習の時間等において、「地域清掃ボランティア活動」、「多文化交流体験」、「福祉体験」など、様々な体験学習を重視するとともに、「道徳教育」や「性(生)に関する教育」等に外部講師を招聘するなど、工夫して取り組んだ。

3. 点検結果・評価

- (1) 人権教育については、市教委主催で23回の研修や、各研究団体と連携した研修により、すべての小・中学校で人権教育のカリキュラムを作成し、総合的な人権教育を実施できた。
- (2) 支援教育については、学校からの依頼に基づき、市として126回の巡回相談を実施し、各校での支援の充実と、「個別の教育支援計画」の作成・運用をさらにすすめることができた。また、市教委主催の研修等を通して、自閉症や発達障がい等、さまざまな障がいへの理解を深めるとともに、教材についての研究を推し進めることで、その理念である「ともに学び、ともに育つ」教育を推進できた。一方で、巡回相談の依頼数は増加傾向にあり、今後、更に対応力を向上させる必要がある。

- (3) 保育園や幼稚園から小学校へ就学する際に「つながるファイル」の活用が進み、保護者や関係機関同士の連携が進んだ。また、中学卒業後、進学先の高等学校や、高等専修学校等へも「つながるファイル」を活用した支援情報の伝達が進んだ。
- (4) すべての学校で、さまざまな体験学習、「道德教育」、「性（生）に関する教育」等を実施し、健やかで豊かな人間性を育むことができた。

4. 課題・方向性

- ・人権教育や支援教育について、今後も教職員の研修機会の確保はもとより、社会状況に正対した内容の設定や質の向上に努めるとともに、保護者への理解と啓発を進め、一層の充実を図る。
- ・「つながるファイル」の活用については、支援学級在籍児童生徒の作成率が平成27年度の69.9%から平成28年度は85.6%と増加傾向にあるが、作成数をさらに増加させるために、今後も保護者向けの説明会の開催を積極的に行い、内容と活用の充実を図る。
- ・今後も各校の実状に応じて、体験活動による豊かな心の醸成を図る。
- ・今後も増加が予想される巡回相談への対応については、新たな相談員の育成や他機関との連携等をすすめる。

【 2. 学校教育 (3) 学校力の向上 】

1. 施策・事業の概要

- (1) 教員の指導力向上、学校力の向上
- (2) 地域に開かれた学校づくり

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 教師の指導力向上、学校力の向上

- ①市教委主催による「教員全体研修 (2 講座、554 名参加)」や今日的な教育課題に即した「課題別研修 (25 講座、延べ 1549 名参加)」を実施した。また、各校においては、それぞれの教育課題に応じた研修会を実施し、学校力の向上に取り組んだ。
- ②教職員の入れ替わりが急速に進む中、経験の浅い教員の資質向上はもとより、各校を担うミドルリーダーの育成がこれまで以上に急がれることから、一定の経験を積んだ教職員を対象とした研修の充実を図った。
- ③全国学力・学習状況調査等の結果分析から、児童生徒の学力面、生活習慣面での課題や、学校全体で取り組むべき具体的な改善方策を明らかにした。

【資料編 47・48 ページ参照】

【富田林市ウェブサイト・各課のページ・教育指導室に掲載】

- (2) 地域に開かれた学校づくり (学校教育自己診断と学校協議会の運営)

- ①全学校園で学校園教育自己診断を実施し、分析結果については学校通信や保護者会等で公表した。また、全小中学校幼稚園で学校園協議会を運営し、課題や提言内容を全教職員で共有し、その改善を進めた。
- ②中学校区を単位として、地域教育協議会 (すこやかネット) の活動を進め、教育コミュニティづくりに取り組んだ。

3. 点検結果・評価

- (1) 全体研修には幼・小・中全教職員の 85%が参加するとともに、課題別研修にも多数の教職員が複数回参加した。これにより、教職員として的人格形成と使命感、責任感の一層の涵養、社会の変化に伴う多様な教育課題の解決や新学習指導要領への対応に向け、教職員の資質向上につながった。ミドルリーダー育成の研修については、小中学校合わせて 41 名が参加し、学校現場の喫緊の課題を事例にして学校で行うべき取組について、研究協議を行った。

また、富田林市学力向上プロジェクトを組織し、全小・中学校での具体的な実践を進めた。しかし、全国学力・学習状況調査では、国語科における「書くこと」の習得状況や家庭学習、読書習慣に課題が見られた。また、思考力・判断力・表現力等の活用力を問う問題にも課題が見られた。

- (2) すべての学校園で、学校園教育活動等の成果を「学校園教育自己診断」や年に複数回実施する「学校園協議会」で検証でき、開かれた学校園づくりを確実に推進することができた。

4. 課題・方向性

- ・学校力向上のため、研修による教職員の資質の一層の向上や、課題の解決に向けた取り組みを進める。また、少人数習熟度別指導や家庭学習の充実により基礎基本の定着を図ることはもとより、「主体的・対話的で深い学び」を実現するために、問題解決学習等を取り入れた授業改善をより一層進め、思考力・判断力・表現力等の育成を図る。さらに、言語能力の向上をめざし、読書活動の推進を図る。
- ・しばらくは、ベテラン教員の退職が続くことから、一人一人の教職員のスキルアップに努めるとともに、引き続き、学校の中核を担う教職員の育成を推進する。
- ・今後も地域の協力のもと、開かれた学校園づくりへの取り組みを進める。

【 2. 学校教育 （4）学校給食の推進 】

1. 施策・事業の概要

（1）小学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③給食費の賦課・徴収管理業務
- ④学校給食センター建替事業

（2）中学校給食

- ①学校給食の安全・安心な実施
- ②学校給食の効果的・効率的な運営
- ③「給食の日」を始めとする喫食率向上に向けた取り組みの実施

2. 平成28年度の取り組み状況

（1）小学校給食【資料編 49 ページ参照】

①・学校給食の実施状況

小学校数：16校 対象児童数：5,372人

実施日数：185日（警報発令により1日給食中止）

・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市小学校給食衛生管理基準の周知・徹底や調理備品の更新、施設の修繕を行った。

②学校給食の効果的・効率的な運営

調理業務を富田林学校給食（株）及び民間調理会社に委託するとともに、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成・給食主任会を富田林市小学校給食会において行った。

③小学校給食費の徴収管理業務を「富田林市債権管理マニュアル」に基づき、督促や催告、支払督促等に取り組んだ。

④第二学校給食センターの除却及び新学校給食センター建設の地元説明会を行い、工事に着手した。

（2）中学校給食【資料編 49 ページ参照】

①・学校給食の実施状況

市内全中学校において自校式による給食を実施した。

中学校数：8校 対象生徒数：2,973人 実施日数（最大）：170日

・学校給食の衛生管理

文部科学省「学校給食衛生管理基準」に従い、本市中学校給食衛生管理基準の周知・徹底を行った。また、夏期休業中には全ての調理従事者を集めて「衛生管理

研修会」を開催した。

②学校給食の効果的・効率的な運営

調理業務を各校とも民間に委託する一方で、給食物資納入業者の登録、給食物資の入札、献立の作成等を富田林市中学校給食会において行った。

③喫食率向上に向けた取り組み状況

全校生徒に無料で給食を提供する「給食の日」を実施し、給食のPRを行った。また、新一年生の4月分の給食申込みを小学校と協力して行なった。8校の土曜参観に給食を行い、PTA試食会等も実施した。

市のシティセールスとも連携し、子育て世代を対象とした市内バスツアーの昼食に給食を提供した。

3. 点検結果・評価

(1) 小学校給食

- ①衛生管理基準及びドライ運用作業手順の徹底を指導し、安全で安心なおいしい学校給食の提供に努めた。また、可能な範囲で地場産の野菜を取り入れた。
- ②富田林市小学校給食会で献立作成・物資購入・業者選定等を行い、調理業務は富田林学校給食(株)及び民間調理会社に委託し、本市栄養士による指導を行いながら、効果的・効率的な運営を進めた。
- ③給食費の管理を公会計で行うことにより、公平性・透明性を確保し、学校現場における事務等の軽減に寄与した。
- ④第二学校給食センターの除却を完了し、新学校給食センター建設工事を開始した。

(2) 中学校給食

- ①衛生管理基準の周知徹底を図ることで、安全で安心なおいしい学校給食を提供することができた。
- ②調理業務を民間業者へ委託、また、一部事務を富田林市中学校給食会において行ったことで、効果的・効率的な運営を行うことができた。
業務システム改修により、業務の効率化、食材の適正管理、申込から食材発注までの時間短縮が可能となった。
- ③喫食率向上に向けた改善に取り組んだ結果、前年度平均喫食率43.5%から今年度は47.4%に上昇し、29年3月においては50.1%になった。

4. 課題・方向性

(1) 小学校給食

- ①食物アレルギーを有する児童に対しての給食提供に関する基本的な考え方を策定する。

- ②給食費の賦課・徴収管理について、給食費管理システムの改良による事務の効率化や裁判手続きも活用した整理を行い、現年度分は 98.5%から 99%、滞納繰越分は 25.38%から 25.87%を達成する。
- ③新学校給食センター稼働の際には、教職員及び児童、並びに配膳パートへ変更点の周知が必要になる。
- ④調理業務を委託している民間調理会社に対し、給食提供業務について引き続き指導を行っていく。

(2) 中学校給食

- ①市内全 8 中学校で実施して 6 年が経過し、その間、喫食率は学校間で差はあるものの、徐々に上昇してきたが、一部の学校が目標の 50%には達していない。喫食率の全体的な引き上げを進めるとともに、喫食率の低い学校の利用促進を図る。
- ②給食利用者への申し込も方法の省力化や給食費の支払い方法の利便性の向上を図ることで、喫食率の全体的な引き上げを進める。
- ③8 校調理場の機器や設備が耐用年数を迎え、修繕費等が増加傾向にある。

【2. 学校教育 (5) 施設等の整備】

1. 施策・事業の概要

- (1) 小学校・中学校の屋内運動場非構造部材耐震化工事
- (2) 小学校・中学校のトイレ改修工事
- (3) 小学校のプール塗装等改修工事
- (4) 小学校・中学校の受変電設備改修工事
- (5) 小学校・中学校・幼稚園の消防設備改修工事
- (6) 中学校普通教室等空調設備整備工事及び空調機購入
- (7) その他学校園施設の営繕工事

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 小学校・中学校の屋内運動場非構造部材耐震化工事
 - ①富田林・錦郡・川西小学校屋内運動場非構造部材耐震化工事
 - ②新堂小学校講堂非構造部材耐震化・アスベスト除去工事
 - ③第三中学校屋内運動場非構造部材耐震化工事
- (2) 小学校・中学校のトイレ改修工事
 - ①大伴・藤沢台小学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
 - ②藤陽中学校トイレ改修工事（トイレ洋式化改修）
- (3) 小学校のプール塗装等改修工事
 - ①大伴小学校プール塗装工事
 - ②久野喜台小学校プールサイド等改修工事
- (4) 小学校・中学校の受変電設備改修工事
 - ①彼方・喜志西小学校受変電設備改修工事
 - ②第三中学校受変電設備改修工事
- (5) 小学校・中学校の消防設備改修工事
 - ①伏山台・向陽台小学校消防設備改修工事
 - ②第二中学校消防設備改修工事
 - ③錦郡・青葉丘幼稚園消防設備改修工事
- (6) 中学校普通教室等空調設備整備工事及び空調機購入
 - ①中学校教室空調設備整備工事（第1期）
 - ②普通教室空調機購入（第1期）
- (7) その他学校園施設の営繕工事
 - ①小学校公共下水道接続工事（彼方小学校）
 - ②小学校埋設ガス管改修工事（伏山台小学校）
 - ③中学校運動場防球ネット改修工事（第三中学校）

④中学校屋内運動場屋根防水改修工事（明治池中学校）

⑤幼稚園進入路舗装改修工事（伏山台幼稚園）

3. 点検結果・評価

- (1) 平成 28 年度からの年次計画による、小学校 17 棟・中学校 10 棟の屋内運動場非構造部材の耐震化工事について、計画どおり小学校 4 棟、中学校 1 棟の工事を完了することができた。
- (2) 平成 24 年度から 1 校につき 2 ヶ所の老朽化したトイレ改修工事を小学校 2 校、中学校 1 校の計画で進めており、今年度も計画どおり工事を行い、良好な教育環境の整備に努めることができ、トイレの洋式化率は、平成 28 年度末現在で、校舎内・体育館等すべてのトイレを含め、27.8%となった。
- (3・4) 継続事業として、経年劣化したプール塗装等改修工事や受変電設備の安全対策工事を行い、良好な教育環境を確保することができた。
- (5) 経年劣化による機能低下を改善するため、小学校 2 校、中学校 1 校の消防設備について、工事を実施し安全対策を講じることができた。
- (6) 年間を通じて生徒が快適な学校生活を送り、集中して学習できる教育環境を整えるよう、平成 28 年度から 30 年度に計画している全中学校普通教室等への空調設備の整備について、計画どおり第 1 期の工事が完了した。
- (7) 学校運営が滞りなく行えるよう、学校からの要望をふまえた営繕工事を行い、学校施設を安全で良好な環境に整備することができた。

4. 課題・方向性

- ・学校施設の屋内運動場は、児童及び生徒の安全確保はもとより、避難所としての機能を確認する必要があるため、今後も年次計画に沿って、非構造部材の耐震対策工事の取り組みを進めていく。
- ・トイレの大規模改修を行い、良好な教育環境の整備に努めているが、今後もトイレの洋式化率向上にむけ、継続して整備を進めていく必要がある。
- ・年次計画に沿って、引き続き、夏の暑さ対策や熱中症対策のため、中学校の普通教室等に空調設備の設置を進め、中学生の良好な学習環境の整備に努めていく。
- ・学校の校舎や付帯設備などの老朽化対策は十分には進んでおらず、今後、老朽化した学校施設を効果的・効率的に整備していくことが必要である。
- ・非構造部材の耐震化を含む工事や老朽化に伴う改造等の学校施設整備には、大きな財源負担が必要となるため、国庫補助金を最大限活用するなど財源の確保に努めていく。

【3. 生涯学習（1）生涯学習の推進 ①生涯学習・社会教育事業】

1. 施策・事業の概要

- (1) 社会教育委員会の開催
- (2) 社会教育団体の活動を支援するための事業
- (3) とんだばやし発見出前講座の実施
- (4) 人権教育の推進

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 社会教育委員会については会議を2回開催し、社会教育に関する事業計画や実施についての審議・検討を行った。
- (2) ①市PTA連絡協議会へは、PTA活動の資質向上のための研修や研究大会の開催、市内35校園のPTA教室開催等への支援を行った。
②市婦人団体連絡協議会では、婦人の地位向上をはかるための各種研修会等の開催やボランティア活動に対して支援を行った。
③市少年少女合唱団へは、広報活動について支援を行った。
④市PTA連絡協議会及び市少年少女合唱団に対しその活動を支援するため補助金を交付した。補助金について協議・調整を行った。
- (3) とんだばやし発見出前講座は年間91回開催し、参加者数は3,384人で、「防災」や「健康」、「保育」についての依頼が多く寄せられた。メニューの更新を行った。
【資料編 51 ページ参照】
- (4) 人権教育の推進では、人権文化センターで開催した識字教室に対して、講師謝金等の支援を行った。

3. 点検結果・評価

- (1) 学校教育、社会教育、家庭教育の各分野の委員から多方面にわたる意見をいただいた。
- (2) 各社会教育団体への活動支援を行い、研修会など、様々な事業が開催された。市PTA連絡協議会では、PTA大会で「親学習」をテーマに研修会を実施した。参加者からは、親と子の関係や子育ての楽しさについて役立つ内容であったとの感想をいただいた。
- (3) とんだばやし発見出前講座は市民の学習機会の充実を図るとともに、市の施策や状況など市政に関する市民の理解を深めることができた。
- (4) 人権教育では、識字教室を人権文化センターで毎週2回開催した。

4. 課題・方向性

- ・生涯学習についての基本構想・基本計画については、市の上位計画や国の生涯学習施策の動向に合わせながら、検討する。
- ・社会教育団体への補助金交付については、団体補助から事業補助への切替を中心に補助の位置づけについて、協議・調整を行った。協議・調整後補助金対象事業内容や、事業経費が補助に値する事業なのかの、妥当性及び補助金額積算の正確性、提出された領収書が適正なのかについて検証が必要である。
- ・とんだばやし発見出前講座については、講座メニューの定期的な更新が必要である。
- ・識字教室については、引き続き予算措置を行うとともに、庁内関係課及び大阪府の識字・日本語学習連絡会議と連携を強める。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ②青少年対策事業】

1. 施策・事業の概要

- (1) 青少年育成と青少年活動を支援するための事業
- (2) こども会の育成及びチャレンジクラブ事業の開催
- (3) 成人式の開催
- (4) 放課後子ども教室の開催
- (5) 福祉青少年センターの運営
- (6) 「こどもインフォメーション」の発行
- (7) 子ども・若者支援の実施
- (8) 青少年委員会の実施

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1・2) 青少年の健全育成を図るため、小学校区毎に委嘱された青少年指導員の活動を支援し、市こども会育成連絡協議会とボーイスカウト、ガールスカウトには補助金を交付するとともに、補助金についての協議・調整を行った。また、正しい野外活動のあり方を広め心身ともに健全な青少年の育成に寄与するため、野外活動協会に事業を委託した。
- (3) 成人式は20歳をむかえた青年を対象に、式典の実施と交流会として「はたちのつどい」を開催した。ポスター及びパンフレットの作成、オープニングセレモニーとして中学生吹奏楽演奏等を実施した。【資料編 52 ページ参照】
- (4) 放課後子ども教室は、地域社会全体で未来を担う子どもの豊かな成長を育むことを目的に、市内16小学校全てにおいて、放課後や週末に、地域のボランティアの協力を得ながらスポーツ活動や文化活動に取り組んだ。
放課後子ども教室の小学校間のばらつきについては、指導員を他の学校へ派遣したり、取り組み内容について指導員交流会を開催することで、改善を目指した。
【資料編 51 ページ参照】
- (5) 福祉青少年センターでは、青少年に自習室、大会議室、小会議室、多目的室を無料で貸し出しするほか、青少年以外の団体にも貸出を行った。【資料編 46 ページ参照】
- (6) 子どもを対象に実施される講座・教室・行事・イベント等を掲載した情報紙である「こどもインフォメーション」を幼稚園・保育園・小学校の園児及び児童全員に配布した。
- (7) 子ども・若者の引きこもり等の相談窓口を開設した。ひきこもりをテーマとしたシンポジウムを開催したほか、公民館と共催で「ひきこもり家族セミナー」を実施した。

- (8) きらめき創造館における事業の企画・実施の中心となり、また、施設の運用を市職員と共に考える青少年委員を一般公募し、高校・大学生を中心とした若者による青少年委員会を開催した。

3. 点検結果・評価

- (1・2) 青少年指導員の活動内容については、近年の少子高齢化・核家族化・高度情報化などが進行し価値観や生活スタイルも多様化するなど大きく変化する中で、青少年を取り巻く状況にも教育の低下、非行や犯罪の増加等に表れてきている現状の中で、こども会育成連絡協議会などの団体と連携しながら、各種スポーツ大会やチャレンジクラブ事業、たこあげ大会、非行防止の啓発活動等、当初計画した事業を実施することで、青少年の健全育成に寄与することができた。
- (3) 成人式は、対象者 1,356 人に対して、963 人の参加があり、出席率は 71.0%で、例年より少し高い出席率であった。
- (4) 放課後子ども教室では、開催回数 334 回、子ども延べ参加者数 12,724 人であった。前年比、回数で 14 回の減、参加者数では 978 人増であった。
- (5) 青少年センター利用については、今年度総利用件数は 966 件で、夏季期間の団体利用者の減少により、前年比 127 件減となった。【資料編 50 ページ参照】
- (6) 「こどもインフォメーション」掲載内容は、主に小学生以下が対象となっているため、中学生への配布を中止し、新たに市内私立幼稚園・小学校への配布を開始した。
- (7) 子ども・若者相談窓口の相談件数は、27 年度は 14 件だったが、28 年度は 28 件であった。
- (8) 青少年委員会での意見を反映した、きらめき創造館運用案を作成した。

4. 課題・方向性

- ・ 青少年指導員の活動内容については、青少年が社会の中で互いを尊重しあいながら共に生きていけるよう、社会性や規範性を育てていくことができるような、新たな取り組みが必要である。
- ・ こども会活動の活性化について、市こども会育成連絡協議会と引き続き、検討を進める。
- ・ 成人式について、府内の 28 年度の平均は 70.7%であり、本市の参加率は 70%前後で推移しているのが現状ではあるが、新成人の参加率を上げる為に一昨年より中学生吹奏楽部の演奏をオープニングセレモニーとしてプログラムに取り入れるなどの工夫をしているが、引き続きプログラムの内容等の見直しによる、出席率の向上に取り組む必要がある。
- ・ 放課後子ども教室の実施については、共働き家庭等の児童を含めた、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるように総合

的な放課後対策を進めるとともに、放課後児童クラブと連携した活動が行うことができる方法を検討する必要がある。

- ・「子ども・若者支援」については、独自取り組みの展開及び公的機関や民間支援組織との連携・協働について検討する必要がある。
- ・青少年委員会について、青少年たちの自主性を促し、成長できる取組みを進める。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ③市民文化の振興】

1. 施策・事業の概要

- (1) すばるホールの運営
- (2) 市民会館の運営
- (3) 市民文化の振興
- (4) 市民文化祭の開催

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) すばるホールの運営【資料編 50 ページ参照】

公益財団法人富田林市文化振興事業団を指定管理者として管理運営を行い、芸術文化鑑賞事業、参加創造事業、普及啓発事業、市民文化祭事業、プラネタリウム及び施設の管理運営事業等を行った。引き続き、賑わい創出を目的に季節をテーマとした館内イベントを実施した。また、今回の不正経理問題は、市民の信頼を損なう極めて遺憾な行為であり、原因究明等についての検証を進めた。

- (2) 市民会館の運営

アクティオ株式会社を指定管理者として管理運営を行い、施設の貸館や受託事業として市民劇場を開催するとともに、自主事業としてレインボーホール講座を開催した。

- (3) 市民文化の振興

文化振興基金を活用し、市内の文化団体の事業に対して、助成金を支出し、活動の財政的支援を行った。

- (4) 市民文化祭の開催【資料編 53 ページ参照】

富田林市文化団体協議会を構成する団体の市民文化祭及び合同発表会としての芸能フェスティバル事業に対し補助金を交付した。

3. 点検結果・評価

- (1) すばるホールの運営

公益財団法人富田林市文化振興事業団と連携し、市民に多様な文化活動や鑑賞機会を提供するとともに、住民自ら参加し創造する機会も提供するなど市民文化創造の拠点にふさわしい施設運営に努めた。また、不正経理問題については、本市におけるチェック体制の強化など、再発防止策についての協議を進めた。

- (2) 市民会館の運営

貸館事業とともに多種多様な講座を企画し施設の利用促進に取り組んだ。

(3) 市民文化の振興

文化振興基金の活用については、6 団体 117 万円を予定していたが、4 団体、439,410 円の助成となった。

(4) 市民文化祭の開催

市文化団体協議会加盟の 13 団体により、コーラスフェスティバルや市民美術工芸展等の合計 12 事業を開催した。

4. 課題・方向性

・すばるホールの運営

施設や各種講座、イベント等への利用者数を増やすため、さらなる創意工夫が必要である。

また、施設及び備品の改修について、年次的な計画を立てる必要がある。

不正経理問題の再発防止策の進捗状況について、定期的な点検が必要である。

・市民会館の運営

施設や各種講座、イベント等への利用者数を増やすため、さらなる創意工夫が必要である。

また、施設及び備品の改修について、年次的な計画を立てる必要がある。

・市民文化の振興

文化振興基金は、当面、剰余金を文化振興基金に充てるとともに、文化振興基金の制度について引き続き検討が必要である。

・市民文化祭の開催

補助金改革の中で制度変更を行ったが、変更後の設定の妥当性、事業内容の合理性、補助金額積算の正当性等、検証の必要がある。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ④図書館活動】

1. 施策・事業の概要

- (1) 図書館資料の貸出とサービスの充実
- (2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携
- (3) 障がい者サービス
- (4) 子どもの読書活動の推進
- (5) 高齢者へのサービスの推進

2. 平成28年度の取り組み状況

(1) 図書館資料の貸出とサービスの充実【資料編 54 ページ参照】

- ①雑誌スポンサー制度を継続し、中央図書館では新規のスポンサーにより4誌増やすことができた。この制度は図書館所蔵雑誌の購入負担をしていただき、その雑誌を広告媒体として利用してもらう制度である。スポンサーは地域貢献ができ、図書館ではスポンサー負担分を他の雑誌購入に充てることで図書館所蔵雑誌を充実させることができた。
- ②貸出サービスと同時に、読書相談やレファレンスサービス(3,945件)にも積極的に取り組んだ。スマートフォン等の普及により簡易な調べ物は個人で解決できることもあり件数は年々減少傾向であるが、レファレンスの内容については、郷土に関することやより専門的なもので調査には時間を要するものとなっており、職員の知識や能力がより必要となってきている。
- ③広域相互利用の記念連携講座は、河内長野市、大阪狭山市、富田林市の三市で「すこやかに生きる」をテーマとし継続して実施した。また、大阪大谷大学、大阪芸術大学、阪南大学の図書館との連携協力を継続し生涯学習社会の進展や市民の学習ニーズに応えることができるよう努めた。
- ④人権政策課との連携による本市が勧める女性の活躍を応援する企画の継続として男女共同参画週間に関連本の展示、貸出を実施した。
- ⑤官公庁等からの寄贈による地域行政関係のDVDは、だんじり祭り関係等25点の寄贈による収集、貸出をした。
- ⑥図書館協議会(委員数10人)を2回開催し、図書館運営についての活発なご意見を伺った。
- ⑦喜志分室閉室に伴い市民会館への自動車文庫の巡回サービスの開始と予約図書等受渡業務の開始による予約本の受取曜日と受取時間の拡大により利便性の向上を図った。また、地下1階の玄関口に返却ポストを設置した。
- ⑧市民会館と東公民館ロビーに図書館での役割を終えた図書の再利用として、リサイクル図書コーナーの設置を実施した。

⑨観光交流施設きらめきファクトリーへの協力により読書週間の期間に合わせ、自分がお薦めの本の帯を作製する「帯とんコンテスト」を開催した。小中学生には図書館所蔵の本での作製、応募の窓口は図書館とし図書館利用の促進となるよう協力した。

⑩18歳選挙権関連として総合事務室に協力し、市内の高校や支援学校への出前講座に必要とする選挙や政治関係の図書を団体貸出し、館内の中高校生のためのYAコーナーに関連図書の展示、貸出をした。

(2) インターネット等を利用したサービスと他の図書館との連携

図書館コンピュータシステムのインターネット環境の利便性の向上として、図書館のホームページに“本が読みづらい方へ”を開設し、大活字本や大人も楽しめる紙芝居朗読や落語のCD等のリストを追加し、障がいをお持ちの方や、高齢者の方へのサービスの紹介を更新した。また、府立図書館を始め、多くの図書館との相互貸借制度を利用して要望資料の迅速な提供(6,119冊)に努めた。また、他の図書館にも、貸出(1,658冊)提供した。

(3) 障がい者サービス

①朗読ボランティアと協働して対面朗読サービスや、市の「声の広報」に継続して取り組んだ。

②音声訳ボランティア養成講習会初級編を開催し、ボランティアの養成を目指したが新しいボランティアの増員にはいたらなかった。

③知的・学習障がい者(児)のためのLLブック(やさしく読める本)は、誰にもやさしい本であるため、高齢者や一般の方にも利用されており、コーナーの充実を目指し、出版点数が少ない中22冊の増加が図れた。

④心身障がい者用郵送貸出は、利用者からの申込みがなかった。

(4) 子どもの読書活動の推進

①子どもの読書及び図書館利用の推進に繋がるよう、小中学校との連携により、4月に市内全児童、生徒へ読書通帳を配布(2冊目以降2,049冊配布)した。継続して読書に親しんでもらうために、図書館ではとっぴーはんこの押印やとっぴーシールの配布も実施した。

②学童クラブ配本便(20学童クラブ1,148冊貸出)の開始により子ども達の身近に本がある環境の充実を図った。

③富田林市子ども読書活動推進計画に基づき、富田林市子ども読書活動推進会議を開催し、関係部署の数値目標達成に向けての取り組み状況の確認や情報交換を行った。また、子ども読書活動推進連絡会を開催し地域で子どもや子育てに関わる市民団体との情報交換をし、「発達がちょっと気になる子どもたち」の講演会を開催し、一般の方にも参加いただく機会とした。

④ブックスタート事業(絵本729冊配布)、あかちゃんのおはなし会(619人参加)や

おはなし会・じゅうたんコーナー（592人参加）などをボランティアと協働して実施した。

また、子育て支援と子ども読書推進事業として、家庭での子育て支援、図書館でのブックスタート事業や、おはなし会を支援するボランティア養成講座を開催し、図書館ばかりでなく地域や学校で、本と子育てに関わる人材を育成し、市民と行政と地域が手を携え、子育て環境作りをめざした。

- ⑤小学1年生全員への図書館のオリエンテーションの実施や、ブック便で、学校図書館への配本（7,356冊）の充実に努めた。

学校図書館との連携により選定したものづくりの本の展示・貸出を図書館で行い、市・教育委員会主催の「とっぴーと読もう！富田林市読書感想文コンクール」に協力し新たに受賞者への新刊図書を貸出する福袋を賞品として提供した。

- ⑥保護者や子どもに身近な大人へ絵本や読み聞かせの啓発を行うため、保育園、幼児教育センター、つどいの広場、児童館に「図書館出前講座」を実施した。

- ⑦子どもの年齢に応じた絵本リスト「絵本で子育て」および「もうすぐママ・パパになれる方へ」の5種類を更新し、保健センターでの健診や幼稚園、保育園等へ配布し情報提供を継続して実施した。

- ⑧高齢介護課の認知症をテーマとした感想文の「MEET★富田林コンクール」に関連本の収集・貸出・展示等の協力を継続して実施した。

（5）高齢者へのサービスの推進

- ①利用が増加している高齢者へのサービスとして、ニーズに応える大活字本、CDを収集し、ホームページのリスト更新による情報提供をした。

- ②朗読ボランティアの協力による「おとなのための朗読会」は、毎年好評で、昨年度は視覚障がいがある利用者へも案内し参加いただき、耳から楽しむ読書の機会を提供した。

3. 点検結果・評価

- （1）・雑誌スポンサー制度により、新たな雑誌の購入ができ利用者へのサービスの充実となった。

・広域相互利用の記念連携講座での市民の講座受講機会の充実や、市民会館での予約図書等受渡業務による受取時間や受取曜日の拡大、リサイクル図書コーナーの設置により市民サービスの向上を図ることができた。

・新たな連携、協力事業として、総合事務室との18歳選挙権関連事業や、観光交流施設きらめきファクトリーとの「帯とんコンテスト」開催が実施できた。

・寄贈によるDVDの収集により市民に郷土に関する資料提供の拡充を図った。

- （2）・図書館コンピュータシステムによるホームページで障がいがある方や高齢者のみならず市民への情報発信の充実を図った。

- ・コンピューターのクラウド方式による経費削減の継続を図った。
 - ・インターネット環境により相互貸借制度での借用による利用者への資料提供（6,119冊）や他の図書館への貸出（1,830冊）も増加した。
- (3) LLブックの収集に努め、コーナーの充実を図った。
- (4) 読書通帳の配布により子どもの読書及び図書館利用の推進に努め、学童クラブ配本便の開始により子どもの読書環境の充実にも努めた。
- ・「図書館出前講座」や子どもの年齢に応じた絵本リストの配布により、地域での子ども読書活動の推進に継続して取り組んだ。
 - ・おはなし会の参加者は低年齢化しており、一人で参加できる年齢のおはなし会は減少傾向であるが、0歳～1歳児対象のあかちゃんのおはなし会の参加者は増加しており、特に中央図書館では、昨年度比3倍以上の参加人数となった。
- (5) 高齢化社会への対応に向けて、ニーズに応える資料（大活字本や朗読CD）の収集・提供をした。「おとなのための朗読会」に視覚障がいがある方にも参加していただくことができた。

4. 課題・方向性

- ・図書館サービスについての点検を行い、その利便性の向上に努める。関係部署や関係団体との連携や協力による事業を今後も継続し、図書館事業の充実を図る。
- ・雑誌スポンサー制度の推進を図りスポンサーの地域貢献と雑誌の充実に努める。
- ・館内で新聞、雑誌等を閲覧し長い時間を図書館で過ごされる、滞在型となっている高齢者のニーズに応える資料の収集・提供や行事の開催の継続及び館内の閲覧椅子修繕等読書環境の整備とともに、高齢者の利便性を考えたサービスを検討する。
- ・心身障がい者用郵送貸出については、サービスの更なる周知に努める。今後も視覚障がい者登録の方へ「おとなのための朗読会」の開催をご案内する等、更に情報提供をしていく。
- ・読書通帳の配布を継続し、子ども達に本や図書館への関心を持ち生涯を通して読書に親しみ図書館を利用してもらえるように努める。
- ・図書館事業を支援していただくボランティアの養成を継続して実施し、新たなボランティアの増員を目指す。
- ・子ども読書活動推進計画に基づき、毎年「子ども読書活動推進会議」、及び「子ども読書活動推進連絡会」を開催し関係部署や関係団体と連携を密にしながら子ども読書活動の推進を図る。
- ・平成29年度末に計画期間が終了となる「第2次富田林市子ども読書活動推進計画」の策定に取り組む。

【3. 生涯学習 (1) 生涯学習の推進 ⑤公民館活動】

1. 施策・事業の概要

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
- (2) 公民館クラブ連絡会（中央、東、金剛）・協議会の育成・指導
- (3) 公民館運営審議会の開催

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供
多彩な主催講座（3館合計72講座）を大学・専門機関等と協力して実施するとともに、公民館クラブや公民館特技登録者等地域の人材を活かしたイベント事業などを実施した。
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
市民の自主的な社会教育活動である公民館クラブ活動活性化のために、活動の周知やクラブ連絡（協議）会との連携協力事業を実施した。
- (3) 公民館運営審議会の開催
7月と3月の年2回開催。第1回では、前年度事業報告、第2回では次年度事業計画等の審議を行った。

3. 点検結果・評価

- (1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供
 - ・市民企画講座などの事業を行ない、地域の人材育成を図った。また地元の大学や高校と連携協力した事業の実施、アートによるワークショップ、地産地消の料理講座など効率的、効果的な事業を実施しマスコミやミニコミ誌にも取り上げられた。
 - ・公民館ホームページ、市ウェブサイトお知らせ欄などを活用し、事業のPRを行なった。
- (2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導
 - ・「納涼の夕べ」（東）、「憲法月間行事」（中央）「お茶の出ない歌声喫茶」「人権週間の映画会」（金剛）など地域に密着した催しを公民館と協力し実施し、地域文化の向上・今日的課題の解決に寄与した。
 - ・「公民館まつり」「クラブ体験ウィーク」など3館共同の事業を実施し、クラブ活動の活性化を図った。
 - ・市の人口が年々減少している中で、3館とも年間利用者数は、ほぼ昨年並み、金剛公民館ではクラブ数、クラブ員数とも若干の増加が見られた。

【資料編 55・56 ページ参照】

(3) 公民館運営審議会の開催

- ・公民館主催事業に関して、学校との連携のあり方や、青年層や子育て世代等の利用の拡大、講座申し込みの方法などについて意見交換を行なった。

4. 課題・方向性

(1) 公民館主催講座・事業の企画・実施並びに生涯学習情報の提供

- ・事業企画において、今日的な学習課題を取り上げる一方、本市をより魅力ある町と感じていただけるような企画や、今まで公民館事業にあまり関心のなかった市民にも興味を持っていただけるような事業などバランスよく取り組んで行く。
- ・青年層、勤労者層の参加を促進するため、ネットによる講座申し込みについて、検討していく。
- ・「公民館だより」の充実と併せ、ホームページの充実や、SNSの有効な活用方法などを検討していく。

(2) 公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導

- ・公民館クラブの活性化を目指し、新規クラブ及びクラブ員の加入促進を図る。
- ・今後、クラブ連絡会・協議会の活動をより自主的に多様な活動が展開できるよう、育成指導に努める。
- ・利用が少ない勤労者や若者が参加しやすい活動内容、及び時間帯のクラブ育成を図る。
- ・公民館クラブ連絡会に未加入の団体に対して、加入を呼びかけていく。

(3) 公民館運営審議会の開催

- ・各種研修会への参加など、委員の研修機会の充実を図る。
- ・今後の公民館のありかたや事業内容について、審議会の意見をできるだけ反映できるように、年間2回の開催時期について検討する。

【3. 生涯学習 (2) スポーツ振興】

1. 施策・事業の概要

- (1) 生涯スポーツの普及振興
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催

2. 平成28年度の取り組み状況 【資料編 57・58 ページ参照】

- (1) 生涯スポーツの普及振興
 - ①市民の体力向上と健康増進を図るため、スポーツ教室、トレーニング講習会・相談、体力測定会を開催した。
 - ②地域スポーツの振興と地域コミュニティ意識の高揚を図るため、地区ファミリーレクリエーション、健康ウォーキング、おでかけ健康ウォーキング、夏休みラジオ体操教室を開催した。
 - ③『いつでも・どこでも・だれでも』気軽に参加できる行事として、親子・ファミリーにふれあいの場と健康づくりの場を提供するチャレンジ・ザ・ウォークを開催した。
 - ④スポーツ・レクリエーションの技術向上だけでなく、いろいろな人とのふれあいの中で人間関係をコーディネートできる自主性のあるリーダーを養成することを目的として、ジュニア・スポーツリーダー・スクールを開催した。
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催
 - ①市をあげてのイベントとして、行政をはじめ地域の各種団体が支援協力することにより地域の活性化を図り、プロ野球を通じてスポーツの振興と市民満足度の向上に寄与するため富田林ドリムフェスティバルを開催した。
 - ②市民の体育向上を目的として、富田林市民体育大会（26 競技）、富田林市民マラソン大会、南大阪駅伝競走大会（南河内6市2町1村）を開催した。
 - ③スポーツ・レクリエーションの普及・振興を目的として、富田林市民スポーツ・レクリエーション祭を開催した。
 - ④市民の健康増進と体力向上を図るため、川西地区にあった市営プールを大規模改修し、誰もが楽しんでいただける施設として平成27年度に、富田林市民プール（アクアパークきらめき）を開設した。

3. 点検結果・評価

- (1) 生涯スポーツの普及振興
 - 子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にしたスポーツ教室や地域でのスポーツ・レクリエーション活動、ジュニアスポーツリーダー講習を開催することにより市民の健康・体力づくりに取り組むことができた。
- (2) 体育向上に向けた各種大会・事業等の開催
 - 各種スポーツ大会・事業等の開催については、市民の体育向上を目的として、一

人でも多く参加できる事業・大会を開催することによりスポーツ普及・振興を図ることができた。また、27年度に開設した市民プールでは、子どもから高齢者まで家族連れで気軽に利用できる施設として、当初の想定を上回る利用者があり、健康増進と体力向上、憩いの場として多くの市民に活用いただいた。

4. 課題・方向性

- ・スポーツ教室の開催については、指定管理者により、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象にした、より多くの各種スポーツ教室の開催が行われた。各種教室の開催日の増加に伴い、既存利用団体との日程調整の協議が必要となっている。
- ・市民体育大会の開催や各種スポーツ・レクリエーション関係団体の事業や大会等を支援するとともに、身近な地域のスポーツ活動を楽しむことができる環境をソフト・ハード両面から整備し、市民のスポーツに参加する機会の増加に努める。
- ・学校体育施設は地域の生涯スポーツの普及・振興に不可欠なものとして定着している。その一方、施設利用上の安全管理やモラルの問題、施設備品等の取扱いや破損時の修繕費負担（相手方が不明時）などの課題がある。
- ・地域の活性化につながる、市をあげてのイベントとしての「富田林ドリームフェスティバル」を開催する。今後ともこの事業を通じ、更なるシティセールス及び市民満足度を上げるための、先進的な取り組みを検討していく。
- ・補助金については、目的に見合った効果が出ているか、また、補助目的が達成されているかなど、補助金事業によってもたらせる効果について検証することが必要である。

【 3. 生涯学習 （3）文化財の保存と活用 】

1. 施策・事業の概要

- (1) 富田林寺内町地区の保存と活用
- (2) 埋蔵文化財の保存と活用
- (3) その他文化財の保存と活用

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) ・富田林寺内町地区の保存については、町家の修理・修景事業を7件実施するとともに、昨年度に引き続き、伝統的建造物群保存地区追加事業に取り組んだ。28年度は、年次計画どおり見直し調査（現況把握・外観目視・伝統的建造物物件・追加地区範囲）や、伝統的建造物群保存地区保存計画及び関係法令の検討等を実施した。
 - ・地区保存に向けた普及啓発活動として、学校他からの申し込みによる講座に6件の講師派遣を行うとともに、町並みパネル展示会を4回実施した。
 - ・地区内の施設活用については、3施設（旧杉山家住宅・旧田中家住宅・寺内町センター）でイベントや展示会を11回実施した。
【施設利用者数については、資料編59ページ参照】
- (2) ・埋蔵文化財の保存については、埋蔵文化財の事前調査を17件実施し、本格的な発掘調査を7件実施した。また、開発行為にかかる試掘調査を25件実施した。
 - ・市立埋蔵文化財センターの管理運営については、センター2階展示室の見学者を59人、資料調査で7人、職業体験で1人を受け入れた。
 - ・埋蔵文化財の活用については、府市連携事業を実施し、幅広いテーマで展示会や体験講座を開催するとともに、従前よりも展示会開催場所を広げた。その結果、学校や地域からの申し込みによる講座に7件の職員の講師派遣を行うとともに、出土遺物の展示5回と歴史講座1回を実施した。また、府立近つ飛鳥博物館等へ資料貸出を行った。
- (3) ・その他文化財の保存については、文化財の除草・清掃業務を行い、適正管理に努めた。また、経年劣化が著しい文化財説明看板や道標「河内ふるさとのみち」の修繕について、年次計画どおり着手した。
 - ・その他の文化財の活用については、展示会を2回実施するとともに、市民他からの各種文化財の照会等による回答や資料貸出、研究者への協力を行った。また、文化財に関して市ウェブサイトや広報紙、facebookにおいて啓発活動を実施した。
 - ・文化財保護条例の制定に向けて、関係機関と調整を図りながら、条例案を作成するとともに、市民の意見を広く聴取するため、パブリックコメントを実施した。

- ・日本遺産認定申請について、「楠木正成」をテーマに5市町村（河内長野市・千早赤阪村・四條畷市・島本町・神戸市）と連携して行ったが、認定されなかった。

3. 点検結果・評価

- (1) 寺内町地区の歴史的町並みの保全については、地区内の町家の修理・修景に対する補助事業を進めるとともに、昨年度に引き続き、伝統的建造物群保存地区追加事業に取り組み、地区全域での伝統的建造物群保存地区指定の実現に向けて、年次計画どおり着実に事業推進を図っている。
- (2) 懸案の文化財保護条例の制定に向けて、関係機関と調整を図りながら取り組んだ結果、平成29年度中に施行することが出来た。
- (3) 府市連携事業の実施や既存の公共施設を新たに展示会場として活用し、展示会や歴史講座などの啓発事業を積極的に実施したことで、本市の貴重な文化財を市内外へ発信するとともに、文化財資料や既存施設の有効活用にもつながったが、今後も事業を継続する必要がある。
- (4) 懸案であった史跡新堂廃寺跡等の整備について、総合計画に「歴史環境の保全」に係る施策の1つとして位置づけたことで、今後は年次計画に基づき、着実に整備事業の推進を図る必要がある。

4. 課題・方向性

- ・寺内町地区内の町家の修理・修景に対する補助事業を進めるとともに、地区全域での伝統的建造物群保存地区指定実現に向けて、年次計画に沿った着実な事業推進を図る。
- ・市域の貴重な歴史的遺産である文化財を保存し、次世代へ継承するため、文化財保護条例制定後の運用整備を図る必要がある。
- ・魅力ある歴史的遺産の情報発信に努めるとともに、展示会・歴史講座を継続して実施する必要がある。また、文化財資料の整理選別を年次的に行うとともに、適正な環境で保管するための施設が必要である。
- ・新堂廃寺跡の史跡整備に向けて、新堂廃寺等整備委員会を再開し、保存活用計画の策定に取り組む必要がある。

【3. 生涯学習 (4) 施設等の整備】

1. 施策・事業の概要

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営
- (2) すばるホールの施設管理運営・施設整備
- (3) 市民会館の施設管理運営・施設整備
- (4) 公民館・図書館の施設管理運営
- (5) じないまち交流館の施設管理運営
- (6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営
- (7) 市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の施設管理運営
- (8) (仮称) 複合的生涯学習プラザ整備着手

2. 平成28年度の取り組み状況

- (1) 福祉青少年センターの施設管理運営
福祉青少年センターの施設及び設備の修繕等を行った。
①パワードスピーカー修繕 ②公用車修繕 ③リソグラフ修繕
- (2) すばるホールの施設管理運営・施設整備
指定管理者との協定に基づき、すばるホールの施設管理運営及び設備の修繕等を行った。
①大ホール舞台吊物機構設備改修 ②プラネタリウム点検修繕・備品購入
空調機器用吸式冷温水器用備品購入
- (3) 市民会館の施設管理運営・施設整備
指定管理者との協定に基づき、市民会館の施設管理運営及び設備の修繕等を行った。
①レストラン鍵修繕 ②ロビー空調機修繕 ③グリストラップ清掃
④防火ドア修繕 ⑤アコーディオンカーテン修繕 ⑥レストラン内排水溝修理
⑦レストラン空調・換気整備修繕 ⑧レストランガラス修繕
⑨レストラン動力電源修理 ⑩レストランブレイカー及び換気口修繕・備品購入
①レストラン厨房エアコン購入
②レストラン内ガス感知器購入
③電話交換機設備等一式購入

(4) 公民館・図書館の施設管理運営

- I. 中央公民館・図書館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。
 - ・国道側掲示板および別館屋根の改修・防火用消防ホースの更新ほか9件
- II. 金剛公民館・図書館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。
 - ・第一講座室壁面修繕・2階空調設備修繕・既設排水枴修繕・構内電話設備交換ほか19件
- III. 東公民館の施設及び設備・備品の改修・修繕・更新を行った。
 - ・1階女子トイレの改修・陶芸釜断熱材修繕ほか7件

(5) じないまち交流館の施設管理運営

指定管理者である富田林寺内町をまもり・そだてる会が行った。

(6) 旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理運営

旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の施設管理を直営で行い、各施設・設備の修繕及び改修を行った。

- ①旧杉山家住宅 電気設備改修、北蔵床緊急改修
- ②寺内町センター 和室照明設備改修及び防音壁設置
- ③旧田中家住宅 乾蔵屋根改修

(7) 市内社会体育施設の管理運営

指定管理者との協定に基づき、社会体育施設の管理運営及び設備の修繕等を行った。

- ①市民プール配管修繕
- ②喜志プール跡地横グラウンドフェンス拡張工事
- ③総合スポーツ公園浄化槽修繕

(8) (仮称) 複合的生涯学習プラザの整備を進めた。

3. 点検結果・評価

すばるホール・市民会館・公民館・図書館・旧杉山家住宅・寺内町センター・旧田中家住宅・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設の整備及び設備の修繕・更新を行い、利用者が安全・安心に施設利用することができた。

また、指定管理者との協定に基づき、すばるホール・市民会館・じないまち交流館・社会体育施設の施設管理運営を適正に行った。

4. 課題・方向性

- ・福祉青少年センター

公会堂跡地施設新設後の、現センターのあり方を考える必要がある。

- ・すばるホール

施設・備品の経年劣化に伴う改修については、年次的な計画を検討する必要がある。

- ・市民会館

施設・備品の経年劣化に伴う改修については、年次的な計画を検討する必要がある。

- ・公民館・図書館

施設の老朽化等に対して、適切な修繕等を行い、利用者にとって安全・安心な社会教育施設としての機能維持に努める。

① 年々施設利用者の高齢化が進む中、ユニバーサルデザインを目指し、すべての市民が利用しやすい施設づくりに務める。

② 中央・東・金剛・喜志分館の施設・設備・備品の整備・改修・更新に努める。

- ・旧杉山家住宅・寺内町センター・じないまち展望広場・旧田中家住宅の経年劣化などに伴う施設整備を適切に行い、利用者の安全と快適性の確保に努めるとともに、効率的で充実した施設管理運営を実現するため、指定管理制度の導入に向けて取り組む必要がある。

- ・市民総合体育館・青少年スポーツホール・総合スポーツ公園・屋外体育施設等の老朽化に伴う整備・改修を年次的に行い、安全・安心に利用できる施設づくりに努める。また、施設の部分的な修繕や改修・メンテナンスを行い、長寿命化を図ることにより、大規模改修の時期を遅らせることができ、結果的にコスト縮減に繋がるものと思われる。

- ・公会堂跡地に（仮称）複合的生涯学習プラザの新設工事を行い、管理・運営について検討する。

教育に関する事務の点検・評価報告書(平成 28 年度実績)の所見

学校法人 関西外国語大学外国語学部 元教授 岡澤潤次

平成 28 年度の施策を対象とした富田林市教育委員会の「教育に関する事務の点検・評価報告書」について、教育総務部の教育総務課・学校給食課・教育指導室、生涯学習部の生涯学習課・文化財課・図書館・公民館の順で課別業務、主要事業実績の点検評価に関する説明を受け、第三者の視点で慎重かつ詳細に検討した。

本報告書は、1. 教育委員会の活動概況、2. 学校教育、3. 生涯学習の部門に大別され、最後に事務事業に係る参考資料として図表およびグラフ等を付記した構成で編集されている。しかも、点検・評価内容が事業テーマ単位で整理し、1. 施策・事業の概要、2. 平成 28 年度の取り組み状況、3. 点検結果・評価、4. 課題・方向性、というように事業テーマごとに統一され、見やすく、かつ具体的にまとめられている。

厳しい財政状況下、平成 28 年度の実施された施策については、それぞれの課題を精査し、改善を必要とする事務事業を優先的に展開し、各課の創意・工夫により適切に処理され、富田林市教育行政の推進に大きく寄与されているものと判断する。

さて、阪神淡路大震災、東北の東日本大震災が発生して、全国民を震撼させ、莫大な被害をもたらし、まだその傷跡が癒えていない中で、九州熊本の大地震が発生し、自然災害の恐怖が結果的に防災対策の必要性を実証することになった。本年度も、本市は、学校施設の整備を最重要課題として捉え、子どもたちが、大半を過ごす学校での安心・安全の確保と近隣住民の緊急避難場所としての機能を一層充実するための取組を着々と進めてきた。その上で、小・中学校の屋内運動場非構造部材耐震化工事の着手へと防災対策を限りなく万全にし、加えて、トイレの洋式化改修や空調設備等積極的に、良好な学習環境整備に尽力されていることを高く評価する。

なお、「教育に関する事務の点検・評価報告書」作成に当たり、課別業務・主要事業一覧の参考資料をもとに、教育委員会事務局が、各課の事務事業の説明とともに意見交換会を持つことにより、相互点検ができ、点検・評価及び課題と方向性が明確に把握できたことになる。また、この報告書が地域住民に対する説明責任を果たす役割を担うものと考えられることができる。

次年度以降、教育に関する事業と事務の点検・評価において、尚一層の充実と改善を進めるため、以下各テーマ項目について所感を付記する。

1. 教育委員会の活動概況について

- 総合教育会議を開催し、市長部局と連携を密にする取組が明確に理解できる。
- 教育委員が、定例委員会会議と総合教育会議に出席して意思疎通を図り、諸行事や委員研修会への積極的参加は、本市教育の活性化に繋がることと推察する。
- 教育委員会会議録や総合教育会議録をウェブサイトで公開し、住民への情報提供で透明性を高め、教育委員会が、教育上の諸課題の克服に鋭意努めている。

2. 学校教育について

- 全幼稚園が園内研究等一人一人の育ちを促す保育に努めている。小・中学校では市単費の講師の雇用で少人数学級編成や習熟度別指導によりきめ細かな指導、及びALTの配置で英語教育に力点を置きグローバル人材の育成を進める。

いじめについて、未然防止に注力を注ぎ、ネット利用に関する啓発や教員研修に努めている。また、不登校については、減少傾向に転じつつも不登校率は依然として高止まりであると受け止め、主要因の「無気力」、「不安」、「人間関係」「家庭状況」等諸課題に対応したアンケート調査や各校でスクールソーシャルワーカーを活用するなど早期発見と対応により、不登校傾向にある子どもの状況把握の精度を高め、生徒指導の機能向上に努め成果をあげていることが分かる。目標とする「子どもが明るく楽しい行きたい学校園づくり」を一層進めて頂きたい。

- 健やかで豊かな人間性を育む教育は、人権尊重教育の推進にかかっている。また、支援教育について、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する富田林市立学校職員対応要領」、を制定し、各学校への周知を図るとともに、保護者や関係機関と連携を深め「つながるファイル」を活用し、「ともに学び、ともに育つ」教育の推進に努めている。障がいのある幼児・児童・生徒一人一人にきめ細かな指導を計画的、組織的に実践し、一層の充実を期待する。そして、体験活動を重視し、道徳教育を充実して、子どもに豊かな人間性を培うことを切望する。
- 学力向上には、教員の指導力向上に尽きる。経験の浅い教員が増え、その資質向上に向けた研修に熱心に取り組まれている。全国学力・学習状況調査から家庭学習、読書習慣のあり方が問われ、思考力・判断力・表現力等課題の克服に向けて、基礎基本の定着とともに主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、各教職員のスキルアップが求められる。新学習指導要領の趣旨の理解と授業研究による実践力を一層磨かれることを期待する。教職員としての人格形成と使命感、責任感等資質の向上に努めて

いる本市教育委員会の積極的な姿勢に敬意を表する。

- 「学校給食は本市で育つ子どもの未来への投資」という大前提を踏まえ進められている。小学校給食は、第二給食センターの建て替えを機に「食育」の理念をさらに深められたし。中学校給食は、喫食率が50%未満の中学校が半数で、大阪府内で先駆的な取組である自校方式の特性を生かしきれていないことが残念。生徒のニーズを把握し、全生徒の心身の健全な成長を目ざして、保護者の理解と協力を得て、積極的に取り組まれることを「食育」の理念の下に、敢えて提言する。

3. 生涯学習について

- 生涯学習において、市民のニーズに寄り添い、やはり市民の自主性の涵養と自主的参画意識や行動力の啓発と醸成を促したい。社会教育委員会の開催、社会教育団体の活動支援事業、出前講座の実施や人権教育の推進等生涯学習の事業を積極的に進めている。新設「きらめき創造館」運用に当たり、青少年委員会を設け、青少年の自主性を促し、成長できる取組を進め、時宜を得たものと賞賛できる。

市民文化の振興にあたり、「文化振興基金」を活発に活用して展開している。

図書館活動や公民館活動等生涯学習の諸事業に当たって、市民サービス向上と生涯学習機会の拡充を目指し、様々な課題を創意工夫により克服して実施している。社会の変化に対応した事業を開発し、善良な市民、公民的資質の涵養、市民文化の啓発と発展にさらに寄与されることを期待する。

- スポーツ振興は、生涯スポーツの普及振興と体育向上に向けた事業を開催し、地域住民が主体的運営を基盤に、市民の誰もが参加し、親しむ環境づくりやスポーツに対する意識を高めてきた。地域コミュニティ意識高揚のため「富田林ドリームフェスティバル」を開催するなど改善に努めている。プロ野球の誘致や産学共同プロジェクト等事業展開を進め、市民意識の高揚を図られている。
- 富田林市の誇る寺内町の保存と活用のため、町家の修理・修景、広場・防火施設等の整備が着実に進められている。なお、貴重な埋蔵文化財等も含め保存と活用に当たっては市民の理解と協力を得て進めて頂きたい。
- 生涯学習施設等の整備において、各施設の老朽化対応、耐震化対応等整備・改修工事を年次的に行われている。バリアフリー化など市民が安全・安心に利用できるよう施設づくりに努められていることが評価できる。

「教育に関する事務の点検・評価報告書（平成28年度実績）」への所見

大阪教育大学大学院連合教職実践研究科教授 森田英嗣

1. はじめに

今回も、「意見交換会」の形で直接に施策の担当者からのお話をきくことができた。昨年度からの変更点を中心に、個々の施策カテゴリごとに所見を述べることにしたい。

2. 学校教育に関する施策にかかわって

- (1) 「幼児教育・学校教育の充実」については「幼児教育の充実と学校における確かな学力の育成」及び「明るく楽しい学校園づくり」が目指されている。本市では従前より退職校長等による「教育カウンセラー」に加え、「スクールカウンセラー」、「スクールソーシャルワーカー」の配置にも取り組んできた。今年度は、3名を6小学校に配置し、1名をほかの小中学校に派遣し、支援体制を充実させた。また、「スクールソーシャルワーカー」については、リーダー的な役割を果たす方を設定し、果たすべき役割についての共通理解も図られているとのことで、適応指導教室との連携の充実も含めて、「チーム学校」を実現する体制が整いつつあると感じた。引き続き、教員（教育の専門家）が「ソーシャルワーカー」や「カウンセラー」等の福祉・心理の専門家と協働することの難しさを前提に、施策の運営をお願いしたい。
- (2) 「健やかで豊かな人間性を育む教育」については、「人権尊重の教育の推進」、「支援教育の推進」、「人間性を育む教育の推進」が目指されている。28年4月からの「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（いわゆる「障害者差別解消法」）の施行にともない、「障がいを理由とする差別の解消の推進に関する富田林市立学校職員対応要領」を制定し、「合理的配慮」の考え方や実施方法について各学校に周知を図られたことは注目に値する。また、保護者や関係機関同士の連携を推進させ、さらには高等学校や高等専修学校等へも、従前から導入されてきた「つながるファイル」を活用した情報共有がなされる体制を整えられたことは、価値ある成果だと言える。
- (3) 「学校力の向上」については、「教員の指導力向上、学校力の向上」、「地域に開かれた学校づくり」が目指されている。全国学力・学習状況調査における「質問紙調査」の結果を見ると、「家で学校の宿題をする」と「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」という項目、および「人の役に立つ人間になりたい」に当てはまると回答する児童・生徒の数が毎年増加しており、よい傾向がみられるのは、本事業の成果だと考えられる。また、定年退職者の増加にともなう教職員の急激な入れ替わりや、新しい指導要領への対応を前提とした研修が意識され、整えられている点が心強い。こうした変化の時期を乗り越えるための基本的な施策は、短期的な成果を期待できるものではないであろうが、中・長期的には、大きな影響を及ぼすと考えられ、施

策の立案者の見識が確認できた。

- (4) 「学校給食の推進」については、小学校中学校共に「学校給食の安全・安心な実施」、「学校給食の効果的・効率的な運営」が目指されると共に、小学校では「給食費の賦課・徴収管理業務」「学校給食センター建替事業」の実施が目指された。さらに、中学校では「『給食の日』を始めとする喫食率向上に向けた取り組みの実施」が目指されてきた。28年度、小学校においては、調理業務を富田林学校給食（株）及び民間調理会社に委託し、また富田林市学校給食会と連携するなどして、効率的な運営が目指された。また中学校では引き続き全中学校において自校式による給食を実施し、喫食率の向上がみられた点が注目される。給食費の賦課・徴収管理業務については学校の負担軽減にとって効果的である。目標収納率の向上については、裁判等を視野に入れた向上を目指すとの方向性も示されているが、給食というシステムそのものの維持にとっても必要でやむを得ないことだと思われる。
- (5) 「施設等の整備」については、小中学校の「屋内運動場非構造部材耐震化工事」、「トイレ改修工事」、「プール塗装工事」、「受変電設備改修工事」、幼稚園を含めた「消防設備改修工事」、また中学校の「普通教室空調設備整備工事及び空調機購入」が実施されてきた。富田林市においては、幼稚園を含めて耐震化が既に完了しており、これにつづき、非構造部材の耐震対策がはじまっている。今年度は、昨年度の点検改修設計業務の成果を踏まえ、実際に非構造部材の耐震化工事が各所で手掛けられ、安全性が大きく改善された。また、空調設備の整備も進み、学習上の効果にもつながってきていることがうかがえた。

3. 生涯学習に関する施策にかかわって

- (1) 「生涯学習の推進」の「①生涯学習・社会教育事業」については「社会教育委員会の開催」など全4事業が計画実施された。28年度は、PTA連絡協議会では「親学習」をテーマに研修会を実施された。また、「とんだばやし発見」出前講座も91回開催された。引き続き充実を目指していただきたい。

「②青少年対策事業」については「青少年育成と青少年活動を支援するための事業」「こども会の育成及びチャレンジクラブ事業の開催」など従前からの7事業に加え、28年度には「青少年委員会の実施」が加わった。青少年委員会は、高校生、大学生を中心にした若者が「きらめき創造館」事業の企画・実施にかかわるという参加型の生涯学習として、今後の展開が期待される。

「③市民文化の振興」については、「すばるホールの運営」を始めとして全4事業が計画実施されてきた。文化振興基金の活用で、当初は6団体117万円の予算を見込んでいたが、実際には4団体44万円程度の執行にとどまったとのことである。昨年度よりは改善がみられたが、引き続き、ニーズの把握や原因の特定を期待したい。

「④図書館活動」については、「図書館資料の貸し出しとサービスの充実」を始

めとして全5事業が計画実施されてきた。本施策・事業では「雑誌スポンサー制度」、「広域相互利用の記念連携講座」の実施、「男女共同参画週間」への協力、「帯とんコンテスト」の開催、「読書通帳の配布」など、他組織との協働による事業展開が、年々充実してきている。市民の情報センターであり、さまざまな連携の要となる施設として、今後とも連携の中で存在感を高めていってほしい。

「⑤公民館活動」については、「公民館主催講座・事業の企画・実施並びに学習情報の提供」を始めとして全3事業が計画実施されてきた。「公民館クラブ連絡会・協議会の育成・指導」では「憲法月間行事」、「人権週間の映画会」など地域のニーズに合わせた新しい企画が実施されている。人口減の傾向の中、年間利用者数は横ばい、クラブ数、クラブ員の増加傾向の公民館がみられるなど、検討を続けているが、施設稼働率は徐々にではあるが下がってきているようにも見受けられる。勤労者、特に男性の利用を増やす点で、新しいアイデアが考えられてもよいと思われる。

- (2) 「スポーツ振興」については「生涯スポーツの普及振興」、「体育向上に向けた各種大会・事業との開催」が計画実施されてきた。27年度に開設した市民プールの利用が多く、市民の健康・体力増進に貢献していることがうかがえた。また、青少年スポーツホール、グラウンド利用者数も増加傾向にあり、この間の市民の主体的参加によるスポーツ文化の振興施策が実を結びつつあるように見受けられた。
- (3) 「文化財の保護と活用」については「富田林寺内町地区の保存と活用」、「埋蔵文化財の保存と活用」、「その他の文化財の保存と活用」が計画実施されてきた。「伝統的建造物群保存地区指定」にむけた取り組み、文化財保護条例の制定において、具体的な成果がみられた。日本遺産認定については、残念な結果であったが、引き続き5市町村との連携を期待したい。学校との連携による次世代育成の取り組みが長期的に本事業の充実に結び付くと思われる。引き続き、充実させていただきたい。
- (4) 「施設等の整備」については「福祉少年センターの施設管理運営」を含め全8事業が計画実施されてきた。施設の管理運営の合理化や各種修繕、清掃、整備の取り組みが、計画的に実施されている。また、高齢化への対応策として、ユニバーサルデザインの考え方を導入するなど、現代的な工夫がみられるところが評価できる。

4. おわりに

以上、個々の事業ごとに、所見を述べてきた。全体として、年を経るにしたがって事業の充実の様子がみられ、心強い思いである。繰り返しになるが、異なる組織や専門家との連携が成果を上げる上で重要になる。各事業では、引き続き、このことを意識した工夫を多様に実践していただけるよう、期待したい。

《資料編目次》

1. 教育委員会所管施設（1）市立学校園等	43
（2）生涯学習・社会教育施設	44
2. 富田林市の人口推移	45
3. 年度別児童・生徒・園児数の推移	46
4. 就学援助	47
5. 奨学金	47
6. 全国学力・学習状況	47～48
7. 小学校、中学校の不登校の状況	48
8. スクールカウンセラーの相談件数	48
9. 教育農園活用（栽培活動実施）状況	48
10. 中学校給食 喫食率の推移	49
11. 小学校給食 実施状況	49
12. すばるホール施設利用状況	50
13. 福祉青少年センター利用状況	50
14. 放課後子ども教室参加状況	51
15. 出前講座開催状況	51
16. 成人式 参加状況	52
17. 市民文化祭 参加状況	53
18. 図書館利用状況	54
19. 公民館利用状況等	55～56
20. スポーツ施設利用状況	57
21. スポーツ事業参加状況	58
22. 杉山家住宅等施設入館者推移	59
23. 寺内町地区の修理・修景実績推移	59
24. 市内の文化財	59

1. 教育委員会所管施設

(1) 市立学校園等

[小学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	児童数 H28.5現在
富田林小学校	常盤町16番20号	明 5. 5. 14	12,998	6,355	5,021	723	316
新堂小学校	若松町四丁目5番4号	明 6. 10. 1	18,542	7,859	7,817	1,365	449
喜志小学校	木戸山町1番36号	明 6. 2. 25	10,328	4,692	4,212	673	449
大伴小学校	南大伴町一丁目2番20号	明38. 5. 11	12,183	6,964	4,843	725	449
彼方小学校	大字彼方411番地	明 6. 5. 1	16,066	6,081	4,861	720	256
錦郡小学校	錦織南一丁目8番1号	明 5. 8. 15	10,833	5,101	4,315	743	285
川西小学校	新家一丁目3番1号	明26. 4. 1	15,469	6,609	4,997	725	368
東条小学校	大字龍泉566番地	明 5. 5. 1	12,766	4,942	2,970	636	110
高辺台小学校	高辺台三丁目1番1号	昭43. 1. 8	15,993	6,646	6,154	703	162
久野喜台小学校	久野喜台一丁目16番1号	昭44. 4. 1	19,803	9,156	5,659	758	305
寺池台小学校	寺池台四丁目3番1号	昭45. 1. 1	17,558	6,693	6,189	754	492
伏山台小学校	伏山二丁目1番1号	昭52. 4. 1	18,581	6,990	3,904	727	308
喜志西小学校	梅の里四丁目6番1号	昭53. 2. 22	17,268	9,496	3,019	725	293
藤沢台小学校	藤沢台二丁目3番1号	昭55. 4. 1	28,760	15,517	5,242	726	416
小金台小学校	小金台三丁目11番1号	平元. 4. 5	24,275	11,181	6,443	919	493
向陽台小学校	向陽台五丁目1番1号	平 2. 4. 1	26,754	9,774	5,793	919	221

[中学校]

学校名	所在地	創立年月日	校地面積 (㎡)	左のうち運動 場面積(㎡)	校舎面積 (㎡)	屋内運動場 面積(㎡)	生徒数 H28.5現在
第一中学校	寿町一丁目3番5号	昭22. 4. 1	25,372	13,326	8,115	983	404
第二中学校	新家一丁目4番1号	昭25. 4. 1	22,458	13,508	5,915	1,213	445
第三中学校	大字佐備15番地	昭46. 4. 1	25,889	12,351	6,002	850	428
金剛中学校	寺池台一丁目1番1号	昭43. 1. 8	30,253	14,481	7,914	1,018	440
葛城中学校	藤沢台三丁目4番1号	昭55. 4. 1	33,310	17,177	6,198	1,018	251
喜志中学校	梅の里一丁目7番1号	昭58. 4. 1	21,781	8,134	5,178	795	413
藤陽中学校	向陽台三丁目4番1号	昭61. 4. 1	29,400	15,890	5,837	1,182	310
明治池中学校	小金台二丁目11番1号	平 2. 4. 1	26,586	13,507	5,001	968	282

[幼稚園]

園名	所在地	創立年月日	園地面積 (㎡)	園舎面積 (㎡)	園児数 H28.5現在
富田林幼稚園	常盤町15番1号	大 3. 10. 1	2,554	906	32
新堂幼稚園	若松町四丁目7番1号	昭28. 4. 10	3,411	942	22
喜志幼稚園	木戸山町1番36号	昭29. 4. 10	1,541	421	25
大伴幼稚園	南大伴町一丁目2番5号	昭29. 4. 1	2,340	660	50
板持幼稚園	西板持町八丁目7番43号	昭28. 2. 4	1,755	584	休園
彼方幼稚園	大字彼方325番地の1	昭49. 4. 1	2,522	441	22
錦郡幼稚園	錦織南一丁目2番10号	昭29. 4. 20	1,957	424	19
川西幼稚園	新家一丁目3番2号	昭29. 4. 10	2,912	727	34
東条幼稚園	大字龍泉566番地	昭49. 4. 10	539	243	休園
伏山台幼稚園	伏山二丁目1番2号	昭52. 4. 11	4,821	700	33
喜志西幼稚園	梅の里四丁目7番1号	昭55. 4. 10	1,700	462	11
青葉丘幼稚園	加太二丁目8番14号	昭31. 4. 1	2,884	970	30
津々山台幼稚園	津々山台一丁目20番9号	平 5. 4. 12	2,000	667	72

[給食センター]

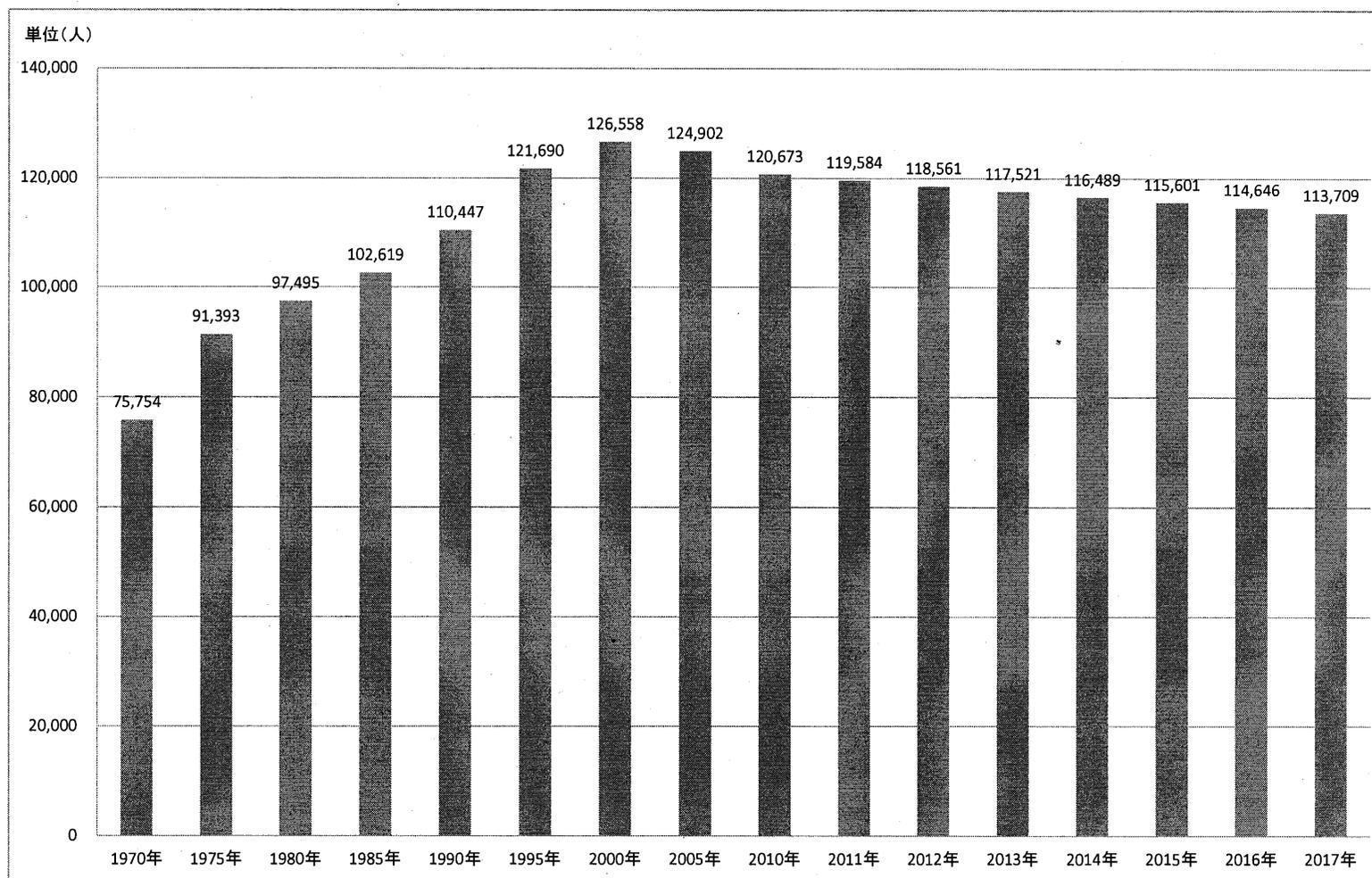
施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延べ床面積(㎡)	調理食数(食)
第1学校給食センター	昭47. 3	3,482	1,760	3,800

(2) 生涯学習・社会教育施設

施設名	建設年月	敷地面積(㎡)	延床面積(㎡)	主要な施設	
すばるホール	平成3年10月	10,136	18,799	ホール(806席)、小ホール、プラネタリウム、レセプションホール、音楽練習室、各種会議室	
市民会館(レインボーホール)	昭和50年3月 平成元年3月	9,511	9,625	ホール(400席)、多目的ホール(700席)、各種会議室	
(仮)複合的生涯学習プラザ	建設中	786			
福祉青少年センター	昭和46年7月	539	737	各種会議室、自習室	
旧杉山家住宅(重要文化財)	昭和62年9月	1,432	720		
寺内町センター	平成3年3月	320	301	休憩室、展示室、会議室	
じないまち交流館	平成18年3月	322	316	交流サロン、情報コーナー、和室、会議室、防災倉庫、防火水槽	
じないまち展望広場	平成22年3月	611	117	小広場、休憩室、防火倉庫、防火水槽	
埋蔵文化財センター	平成3年3月	第一中学校敷地内	819	収蔵室、展示室、復元室、資料室、事務室、洗浄室、会議室	
旧田中家住宅	平成24年3月	770	233	和室1、和室2	
中央公民館	昭和51年3月	3,503	1,747(図書館含む)	ホール、講座室、栄養室、和室	
中央図書館	昭和51年3月	中央公民館内	764	閲覧室、書庫、朗読会議室	
金剛図書館	昭和58年2月	3,205	1,816(公民館含む)	閲覧室、書庫、朗読会議室	
金剛公民館	昭和58年2月	金剛図書館内	903	ホール、講座室、美術室、実習室、和室	
東公民館	昭和56年3月	1,738	1,129	ホール、講座室、工作室、和室	
中央公民館喜志分館	平成12年4月	レインボーホール内	237	美術室、講座室、和室	
中央図書館東分室	昭和56年6月	東公民館内	57	図書室	
中央図書館喜志分館	平成元年5月	市民会館内	77	図書室	
市民総合体育館	昭和55年10月	13,154	4,782	主競技場、剣道場、柔道場、卓球室、トレーニングルーム、会議室	
総合スポーツ公園	平成6年3月	136,462	—	多目的競技場、野球場、テニスコート(8面)、ゲートボール場、わんぱく広場、展望台、ジョギングコース	
青少年スポーツホール	昭和46年3月		1,069	競技場	
青少年教育キャンプ場	昭和46年3月	4,958	—	管理棟、調理場、炊事場	
テニスコート	中野	昭和52年8月	13,703	—	ハードコート3面、クレーコート5面
	金剛東	昭和56年4月	1,385	—	アンツーカー2面
	金剛	昭和53年11月	680	—	アンツーカー1面
	津々山台	昭和63年7月	1,600	—	アンツーカー2面
	津々山台第2	平成8年4月	1,540	—	ハードコート2面
グラウンド	金剛中央	昭和44年10月	7,830	—	軟式野球、少年野球、ソフトボール
	金剛東	昭和56年4月	7,630	—	軟式野球
	喜志プール横	昭和40年12月	5,646	—	少年サッカー、女子ソフトボール
	喜志(河川敷)	昭和53年9月	48,761	—	軟式野球、ソフトボール2面
	川西(河川敷)	昭和53年11月	27,688	—	軟式野球、ソフトボール4面、ゲートボール8面
	西板持(河川敷)	昭和56年4月	37,946	—	少年野球、ソフトボール3面
	石川(河川敷)	平成19年4月	12,120	—	サッカー1面、ゲートボール1面
	若松東	平成22年4月	8,765	—	少年野球、ソフトボール1面
	中野2号公園	昭和58年2月	3,600	—	ソフトボール1面
	中野3号公園	昭和58年1月	5,680	—	少年野球、ソフトボール1面
	錦織多目的	平成27年4月	7,751	—	グラウンドゴルフ他
ゲートボール場	彼方	不明	710	—	ゲートボール1面
	津々山台	平成10年4月	1,080	—	ゲートボール2面
グラウンドゴルフ	川西(河川敷)	平成22年4月	8,660	—	グラウンドゴルフ2面
市民プール(アクアパークきらめき)	平成27年4月	3,483	—	25mプール、幼児用プール	

2. 富田林市の人口推移

年	人口
1970年	75,754
1975年	91,393
1980年	97,495
1985年	102,619
1990年	110,447
1995年	121,690
2000年	126,558
2005年	124,902
2010年	120,673
2011年	119,584
2012年	118,561
2013年	117,521
2014年	116,489
2015年	115,601
2016年	114,646
2017年	113,709



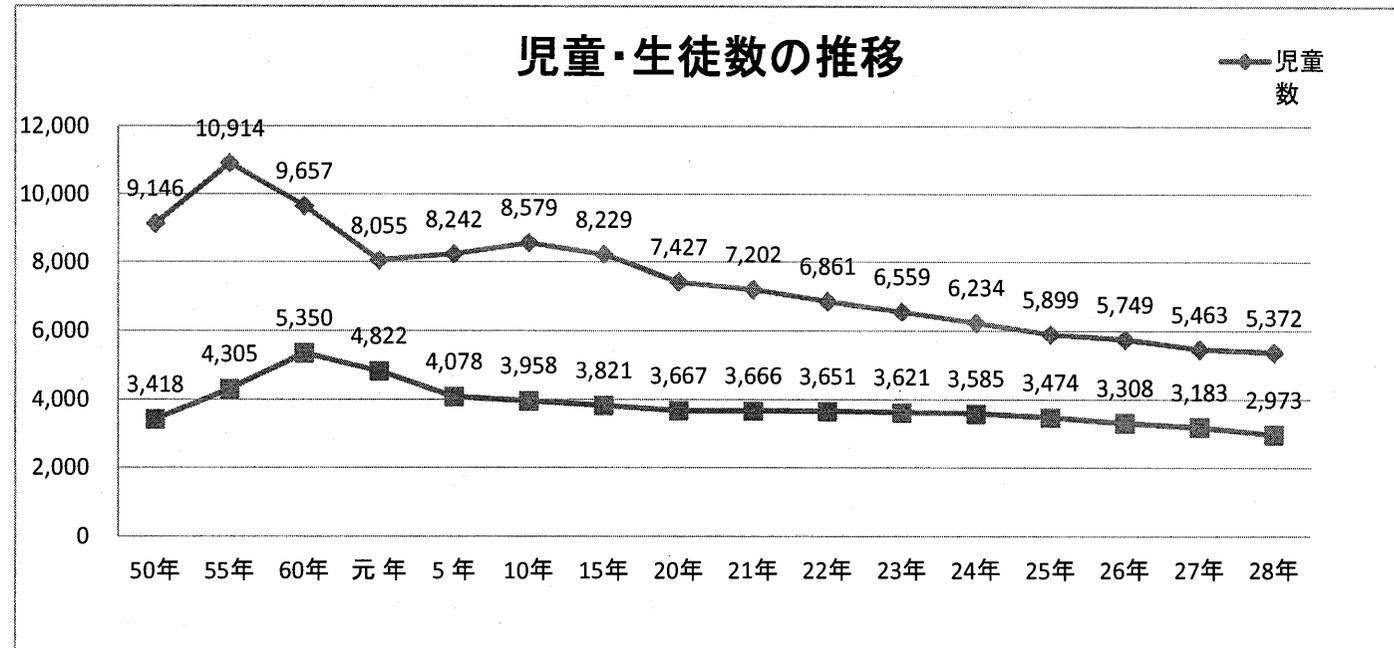
※1970年～2000年 国税調査

※2005年以降 富田林市人口表(各年3月末時点)

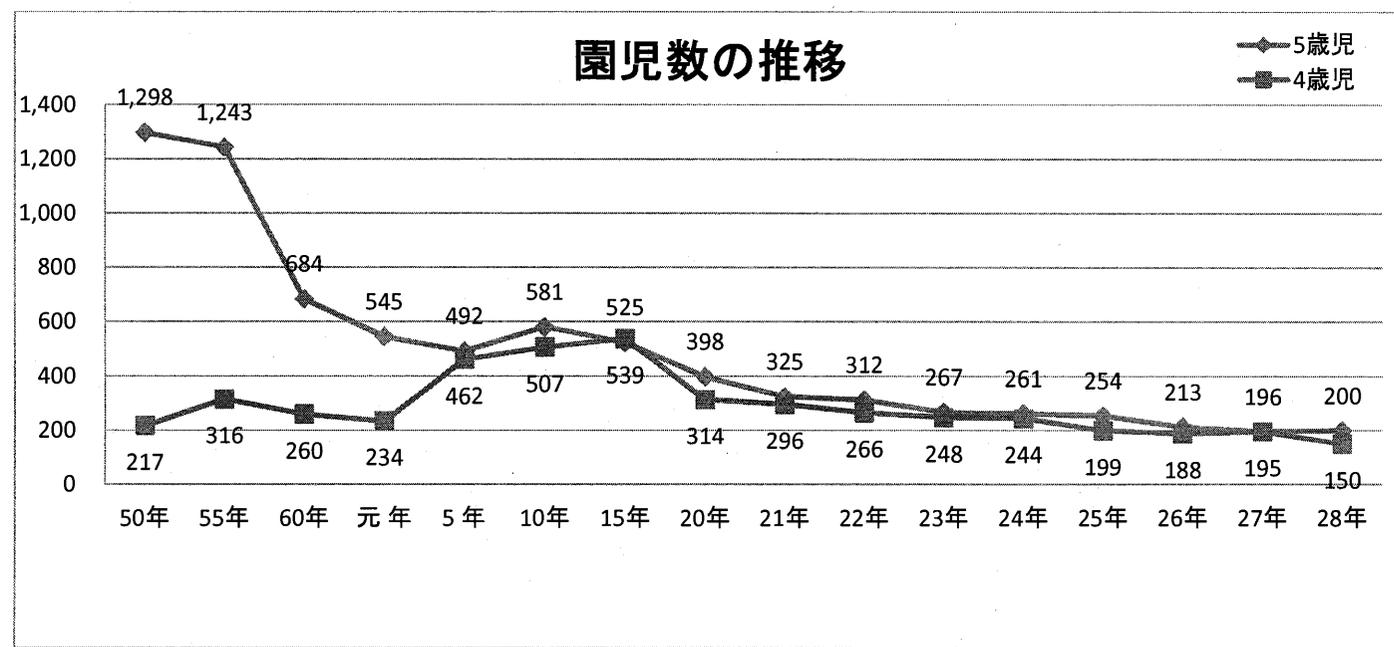
3. 児童・生徒数・園児数の推移

※各年 5月1日現在

年	児童数	生徒数
50年	9,146	3,418
55年	10,914	4,305
60年	9,657	5,350
元年	8,055	4,822
5年	8,242	4,078
10年	8,579	3,958
15年	8,229	3,821
20年	7,427	3,667
21年	7,202	3,666
22年	6,861	3,651
23年	6,559	3,621
24年	6,234	3,585
25年	5,899	3,474
26年	5,749	3,308
27年	5,463	3,183
28年	5,372	2,973



年	5歳児	4歳児
50年	1,298	217
55年	1,243	316
60年	684	260
元年	545	234
5年	492	462
10年	581	507
15年	525	539
20年	398	314
21年	325	296
22年	312	266
23年	267	248
24年	261	244
25年	254	199
26年	213	188
27年	196	195
28年	200	150



4. 就学援助

就学援助認定者数(要保護+準要保護)

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	1,781	1,652	1,623	1,520	1,475
中学校	1135	1111	1042	951	874
合計	2,916	2,763	2,665	2,471	2,349

就援率

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	28.2%	28.0%	28.2%	27.8%	27.5%
中学校	31.3%	32.0%	31.5%	29.9%	29.4%
合計	29.3%	29.5%	29.4%	28.6%	28.1%

5. 富田林市奨学金

	H24	H25	H26	H27	H28
支給者(人)	117	118	118	120	123
申請者数(人)	211	264	261	312	263

6. 全国学力・学習状況

全国学力・学習状況調査 国語Aの正答率 ()大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	71.1(73.1)	60.5(61.2)	69.7(70.7)	67.1(67.6)	69.0(71.3)
中学校	65.9(65.1)	75.2(73.3)	80.0(77.0)	75.3(74.4)	74.2(73.5)

全国学力・学習状況調査 国語Bの正答率 ()大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	65.2(65.5)	47.0(47.9)	51.6(52.6)	62.2(62.7)	54.8(55.4)
中学校	48.5(47.3)	64.8(63.0)	50.5(47.2)	68.2(64.8)	66.2(63.3)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Aの正答率 ()大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	63.0(63.6)	76.3(77.1)	78.6(77.3)	75.4(74.8)	79.1(76.9)
中学校	66.7(65.5)	61.0(61.7)	69.4(65.0)	66.5(64.3)	64.0(61.7)

全国学力・学習状況調査 算数・数学Bの正答率 ()大阪府平均 ※H24のみ府調査

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	41.4(42.9)	56.4(57.3)	57.2(56.3)	44.2(44.1)	46.0(45.8)
中学校	40.8(40.4)	38.9(38.8)	61.5(56.9)	42.2(41.4)	44.9(43.1)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均

※H24のみ府調査

「家で学校の宿題をする」

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	94.9(95.6)	95.5(96.3)	95.4(96.3)	97.3(96.7)	97.4(97.2)
中学校	83.4(78.3)	85.3(81.1)	88.3(84.3)	87.1(85.8)	88.8(86.6)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均

※H24のみ府調査

「何事にも、失敗をおそれず挑戦する」

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	72.6(68.8)	77.8(72.8)	75.9(73.0)	80.7(74.5)	80.1(74.3)
中学校	59.3(57.5)	67.5(64.2)	69.7(65.4)	70.2(68.1)	74.6(69.0)

全国学力・学習状況調査「質問紙調査」(抜粋) ()大阪府平均

※H24のみ府調査

「人の役に立つ人間になりたい」

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	91.1(90.0)	93.3(92.7)	93.4(93.0)	94.4(92.6)	94.5(92.9)
中学校	88.6(87.9)	92.9(91.4)	93.5(92.4)	93.6(92.8)	93.9(91.4)

7. 小学校、中学校の不登校の状況

(単位:‰ 千分率)

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	2.8	4.2	6.6	8.1	7.1
中学校	34.8	37.6	37.8	43.7	44.1

8. スクールカウンセラーの相談件数(のべ人数)

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校	683	684	851	787	859
中学校	5,303	4,598	2,897	2,118	2,519

9. 教育農園活用(栽培活動実施)状況

	H24	H25	H26	H27	H28
小学校内	16	16	16	16	16
小学校外	10	9	10	10	9
中学校	8	8	8	8	8

10. 中学校給食 喫食率の推移

	喫食率(%)					開始時期	H28年度 実施日数 (日)	生徒数(人) (H28年5月1日)
	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度			
葛城中学校	57.2	57.2	59.3	59.7	60.8	H19年1月	150	251
明治池中学校	45.3	54.2	56.2	60.3	62.6	H22年1月	147	282
第三中学校	26.2	34.6	41.6	42.6	46.5	H22年1月	140	428
喜志中学校	41.7	45.3	51.4	53.8	57.4	H22年2月	150	413
第二中学校	23.6	24.4	26.6	28.2	31.6	H22年3月	142	445
藤陽中学校	37.6	36.2	35.2	36.6	41.7	H23年1月	138	310
第一中学校	18.5	17.5	23.9	27.5	32.2	H23年2月	137	404
金剛中学校	44.1	48.3	51.1	50.0	53.1	H23年2月	152	440
全校	34.9	37.7	41.8	43.5	47.4	—	170	2,973

11. 小学校給食 実施状況

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
学校数	16	16	16	16	16
年間給食数	1,189,201	1,142,034	1,108,516	1,064,158	1,035,386
一日平均 給食数	6,359	6,139	5,991	5,721	5,596

12. すばるホール施設利用状況

(利用率=利用日数/利用可能日数)

項目	24年度			25年度			26年度			27年度			28年度		
	件数	利用率	利用者数												
ホール	151	54.0%	59,638	145	50.5%	57,414	145	49.1%	49,935	156	52.2%	51,904	151	53.4%	55,505
小ホール	247	76.9%	20,906	349	93.2%	32,572	367	93.5%	28,906	363	93.2%	25,397	367	93.6%	24,733
レプションホール	147	51.3%	43,215	150	52.1%	43,221	140	48.6%	41,017	135	45.9%	39,876	109	36.7%	42,916
会議室1	352	83.8%	5,864	329	79.9%	5,641	338	84.8%	5,272	298	72.2%	4,184	297	75.7%	4,221
会議室2	660	92.1%	11,188	670	91.2%	11,247	679	91.5%	10,145	678	89.1%	10,363	603	83.3%	9,469
会議室3	308	75.6%	11,270	258	69.9%	9,780	220	64.2%	8,254	204	58.0%	8,073	203	60.4%	8,016
リハーサル室	466	93.9%	29,179	504	95.1%	30,700	556	94.2%	30,937	564	96.2%	28,123	615	92.6%	28,586
展示室	164	56.9%	18,275	151	49.3%	14,924	149	48.8%	12,158	152	48.4%	16,773	136	44.7%	17,822
美術室(カルチャールーム)	347	78.2%	6,102	354	78.9%	7,189	307	67.7%	5,747	342	68.6%	5,951	340	69.7%	5,301
音楽練習室	409	86.8%	5,316	368	80.7%	5,219	382	79.4%	5,300	405	81.4%	5,304	399	82.5%	6,314
フナトリウム室	30	10.0%	2,325	29	9.8%	2,532	25	8.7%	2,123	27	8.9%	1,735	25	8.7%	1,828
合計	3,281	69.0%	213,278	3,307	68.2%	220,439	3,308	66.4%	199,794	3,324	64.9%	197,683	3,245	63.8%	204,711

13. 福祉青少年センター利用状況

(利用率=利用件数/利用可能区分数) ※区分=1日4区分、但し日曜日は3区分

項目	24年度		25年度		26年度		27年度		28年度	
	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率	件数	利用率
大会議室	542	47.7%	564	49.0%	576	51.0%	573	50.1%	440	38.5%
多目的室	246	21.6%	242	21.0%	257	23.0%	273	23.8%	285	25.0%
小会議室	184	16.2%	319	28.0%	251	22.0%	247	21.6%	241	21.1%
サークル作業室	—	— ※2	—	— ※2	—	— ※2	—	— ※2	—	— ※2
合計	972	28.5%	1,125	33.0%	1,084	32.0%	1,093	31.6%	966	28.2%

※2) サークル作業室は、スポーツ振興課移転に伴い、平成24年3月より閉室。

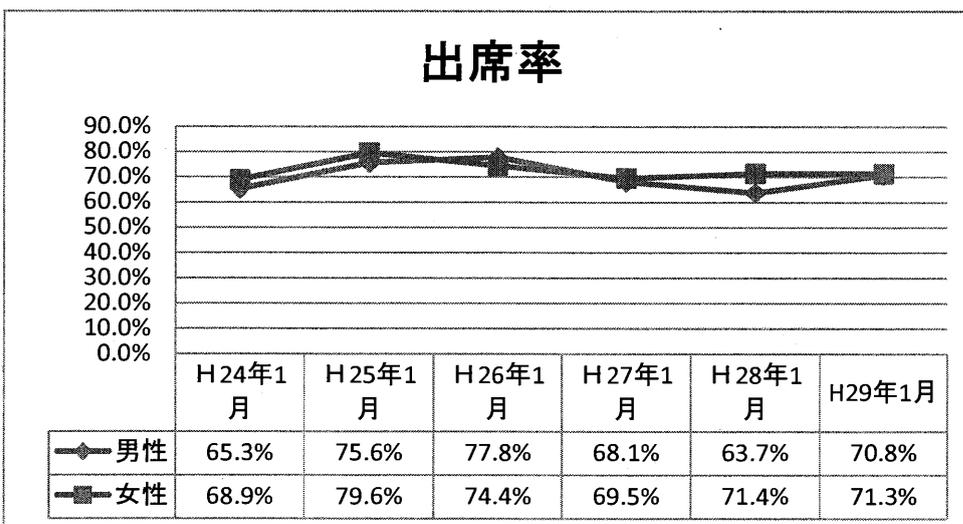
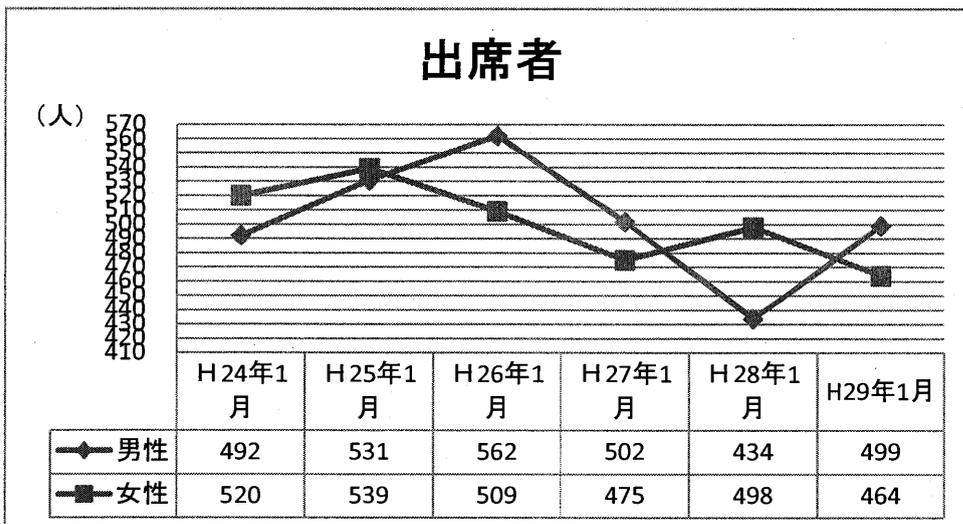
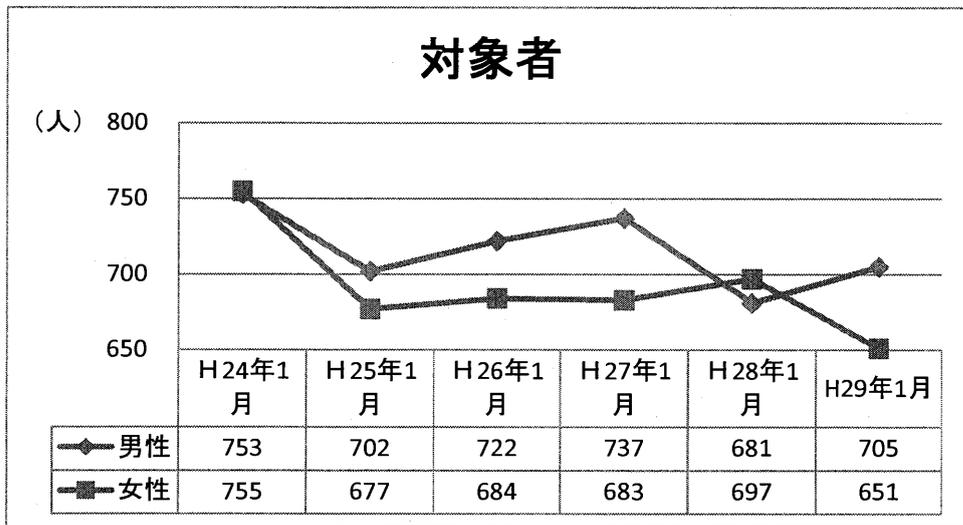
14. 放課後子ども教室 参加状況

		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
富田林	回数	30	28	29	27
	参加児童数	675	652	607	677
	在籍児童数	334	321	310	316
新堂	回数	9	10	9	9
	参加児童数	233	299	222	258
	在籍児童数	520	508	457	449
喜志	回数	8	10	10	10
	参加児童数	346	317	369	351
	在籍児童数	502	482	457	449
大伴	回数	16	18	17	14
	参加児童数	666	540	516	495
	在籍児童数	516	491	465	449
彼方	回数	22	23	21	13
	参加児童数	561	504	684	479
	在籍児童数	316	285	258	256
錦郡	回数	16	16	16	15
	参加児童数	1,242	1,467	1,254	1,618
	在籍児童数	340	325	301	285
川西	回数	19	21	18	23
	参加児童数	1,114	1,136	860	906
	在籍児童数	471	431	398	368
東条	回数	28	30	30	29
	参加児童数	469	462	423	419
	在籍児童数	131	129	129	110
高辺台	回数	15	15	11	12
	参加児童数	536	513	356	571
	在籍児童数	182	176	166	162
久野喜台	回数	17	19	16	16
	参加児童数	689	797	639	820
	在籍児童数	312	326	297	305
寺池台	回数	22	25	23	23
	参加児童数	871	1,247	1,145	1,317
	在籍児童数	476	486	467	492
伏山台	回数	21	22	22	22
	参加児童数	1,044	1,123	717	729
	在籍児童数	281	299	312	308
喜志西	回数	18	16	17	21
	参加児童数	885	340	378	398
	在籍児童数	322	304	304	293
藤沢台	回数	30	34	41	28
	参加児童数	1,020	1,163	1,241	1,066
	在籍児童数	430	420	426	416
小金台	回数	19	21	26	28
	参加児童数	1,281	1,235	1,221	1,462
	在籍児童数	532	532	502	493
向陽台	回数	51	49	42	44
	参加児童数	1,183	1,298	1,114	1,158
	在籍児童数	234	234	214	221
合計	回数	341	357	348	334
	参加児童数	12,815	13,093	11,746	12,724
	在籍児童数	5,899	5,749	5,463	5,372

15. 出前講座 開催状況

	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
回数	64	55	63	166	91

16. 成人式 参加状況

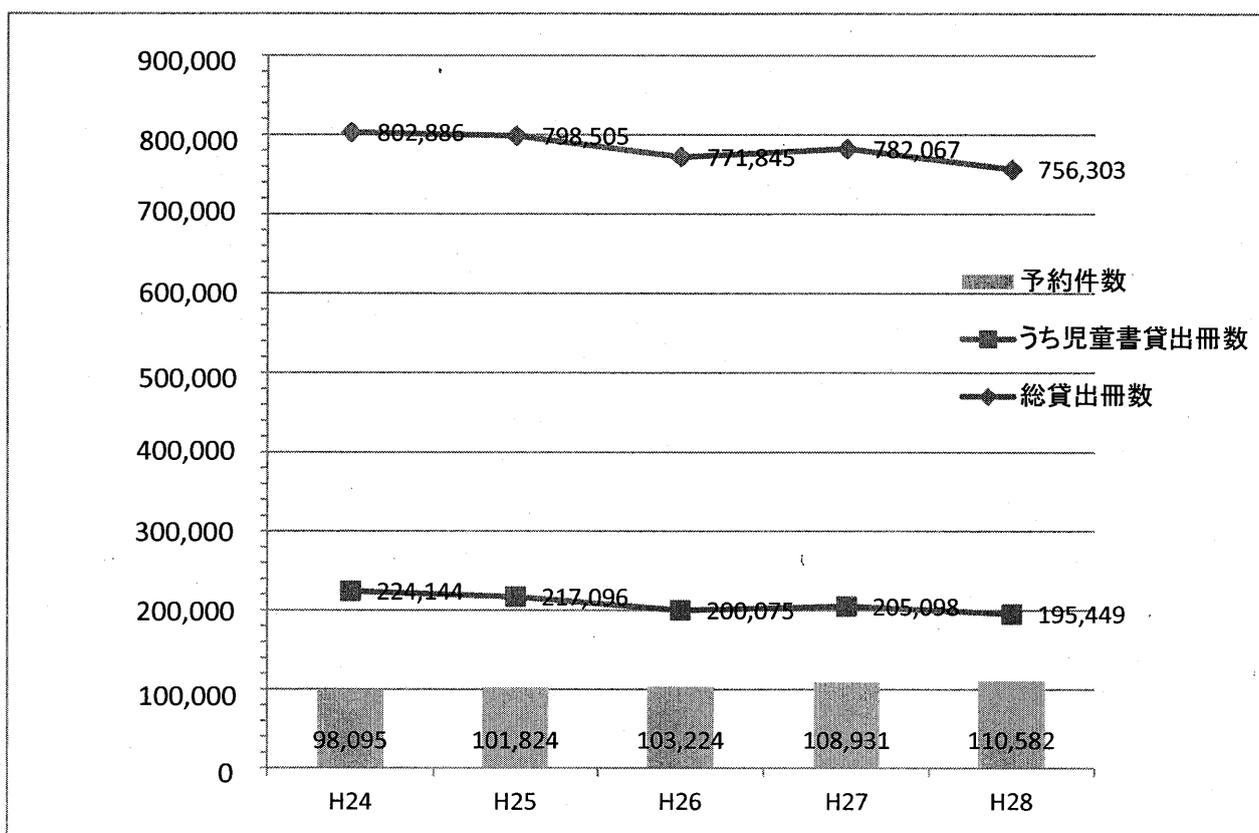


17. 市民文化祭 参加者状況(人)

行 事 名	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度
コーラスフェスティバル	500	500	500	500	530
市民美術工芸展	333	284	258	258	289
箏・三絃・尺八演奏会	104	100	113	132	104
民謡大会	70	80	78	67	50
謡曲大会	30	30	32	26	28
詩吟大会	130	156	105	144	139
ミュージック フェスティバル	135	79	143	101	114
茶華道大会	59	73	55	46	65
川柳大会	111	78	95	98	104
市民舞踏会	109	114	118	96	114
芸能フェスティバル	125	32	100	183	1,058
ダンスフェスティバル	360	274	263	270	186

18. 図書館 利用状況

	総貸出人数	総貸出冊数	うち児童書貸出冊数	予約件数	録音図書等延貸出人数	ブックスタート配布絵本冊数
H24	192,295	802,886	224,144	98,095	427	793
H25	221,116	798,505	217,096	101,824	250	700
H26	219,750	771,845	200,075	103,224	46	735
H27	226,876	782,067	205,098	108,931	53	761
H28	224,499	756,303	195,449	110,582	79	729



19. 公民館利用状況等

項 目		H24	H25	H26	H27	H28
中央公民館	1 主催講座延べ開催数	185	203	240	200	179
	2 主催講座学習者数(人)	3,560	2,832	3,653	2,544	2,491
	3 イベントその他の事業延べ開催数	19	16	17	19	15
	4 公民館クラブ数	53	53	48	48	47
	5 公民館クラブ員数	948	940	875	863	859
	6 年間施設利用件数	2,389	2,353	2,467	2,496	2,437
	7 年間施設利用者数	33,095	33,058	35,232	34,454	34,487
	8 施設年間平均稼働率(%)	45	42	43	44	43
東公民館	1 主催講座延べ開催数	80	77	71	87	51
	2 主催講座学習者数(人)	1,193	1,461	1,152	1,309	844
	3 イベントその他の事業延べ開催数	12	12	15	8	16
	4 公民館クラブ数	38	38	37	37	35
	5 公民館クラブ員数	516	536	521	522	479
	6 年間施設利用件数	1,768	1,707	1,621	1,585	1,529
	7 年間施設利用者数	23,795	24,173	22,918	23,578	23,903
	8 施設年間平均稼働率(%)	34	39	36	35	31
金剛公民館	1 主催講座延べ開催数	84	67	77	73	54
	2 主催講座学習者数(人)	1,423	1,306	1,680	1,229	1,235
	3 イベントその他の事業延べ開催数	19	19	18	14	33
	4 公民館クラブ数	53	52	56	56	57
	5 公民館クラブ員数	941	853	870	874	923
	6 年間施設利用件数	2,994	2,830	2,969	2,863	2,818
	7 年間施設利用者数	41,571	40,407	39,039	38,757	38,862
	8 施設年間平均稼働率(%)	51	52	48	49	46

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

※利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分)

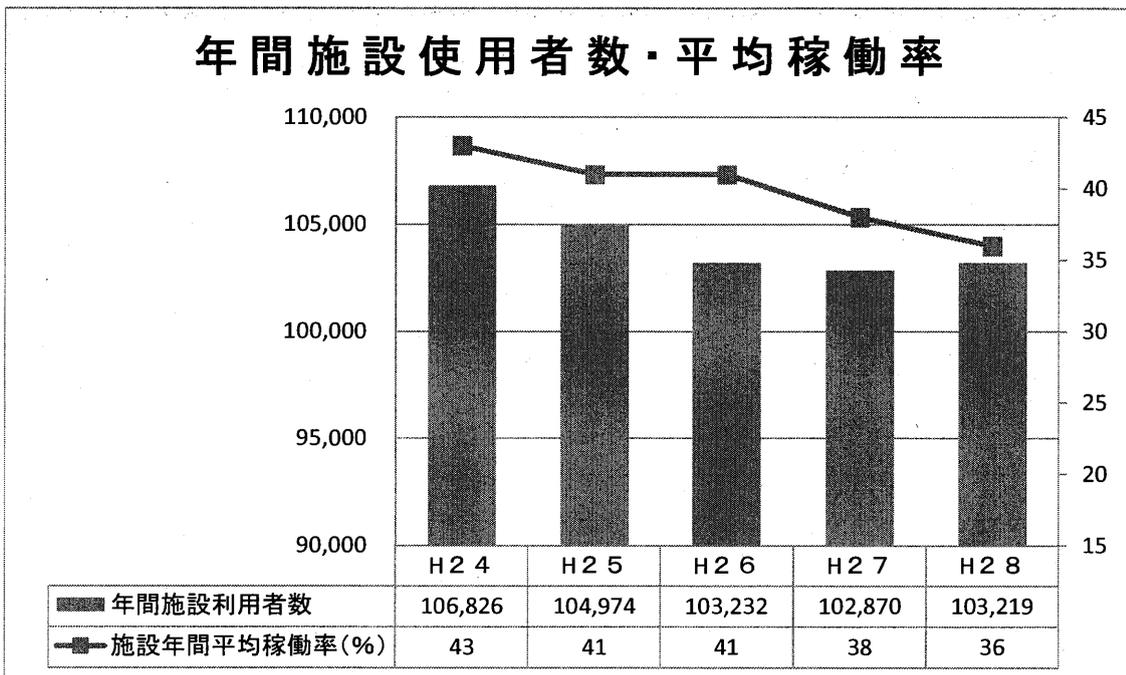
		項 目	H24	H25	H26	H27	H28
喜志分館	1	年間施設利用件数	758	684	549	548	566
	2	年間施設利用者数	8,365	7,336	6,043	6,081	5,967
	3	施設年間平均稼働率(%)	31	30	23	23	24
総 合 計	1	主催講座延べ開催数	349	347	388	360	284
	2	主催講座学習者数(人)	6,176	5,599	6,485	5,082	4,570
	3	イベントその他の事業延べ開催数	50	47	50	41	64
	4	公民館クラブ数	144	143	141	141	139
	5	公民館クラブ員数	2,405	2,329	2,266	2,259	2,261
	6	年間施設利用件数	7,909	7,574	7,606	7,492	7,350
	7	年間施設利用者数	106,826	104,974	103,232	102,870	103,219
	8	施設年間平均稼働率(%)	43	41	41	38	36

(稼働率＝年間利用件数/年間利用可能区分)

利用区分＝1日3区分、但し日曜日は2区分

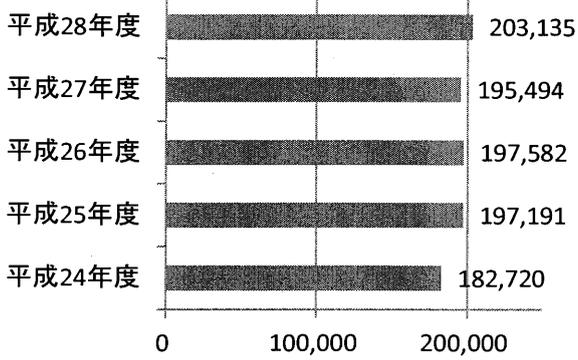
※東・金剛ホールは平日4区分

年間施設使用者数・平均稼働率

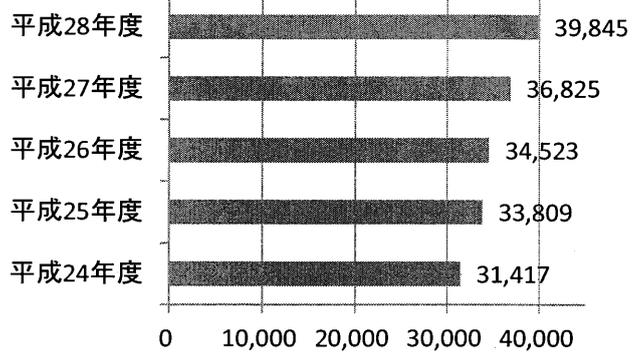


20. スポーツ施設利用状況

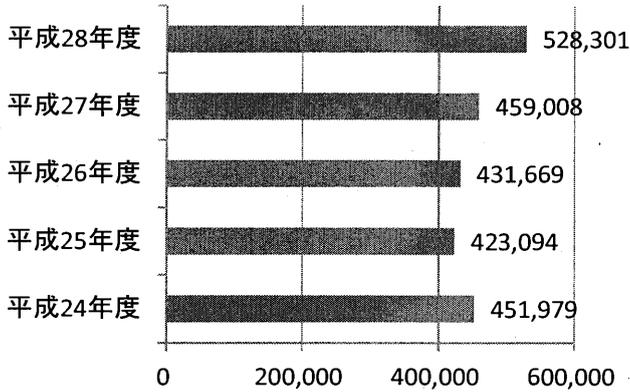
市民総合体育館
利用人数



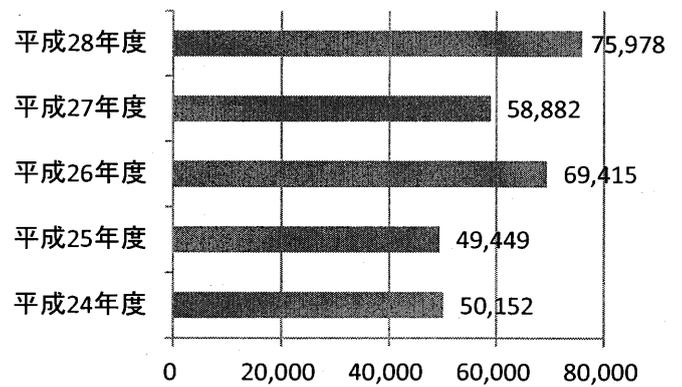
青少年スポーツホール
利用人数



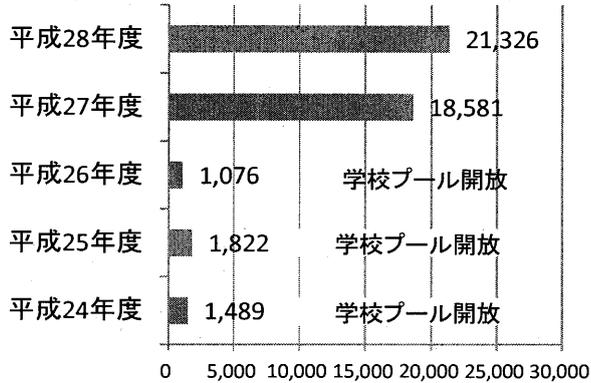
グラウンド 利用人数



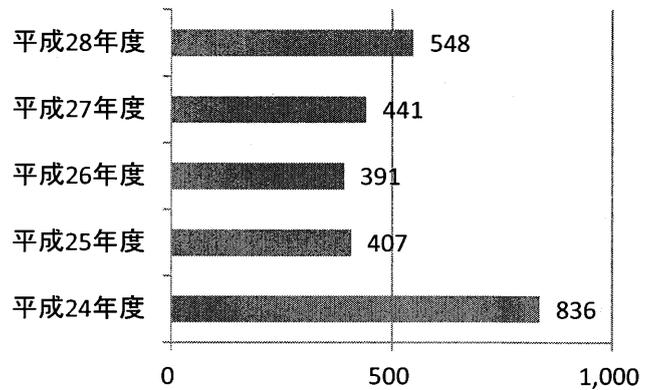
テニスコート 利用人数



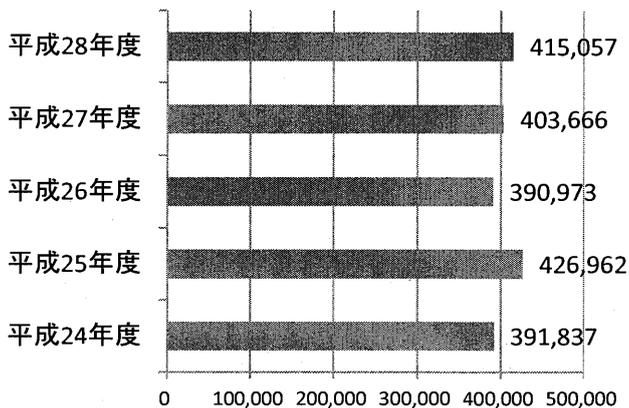
市営プール
利用人数



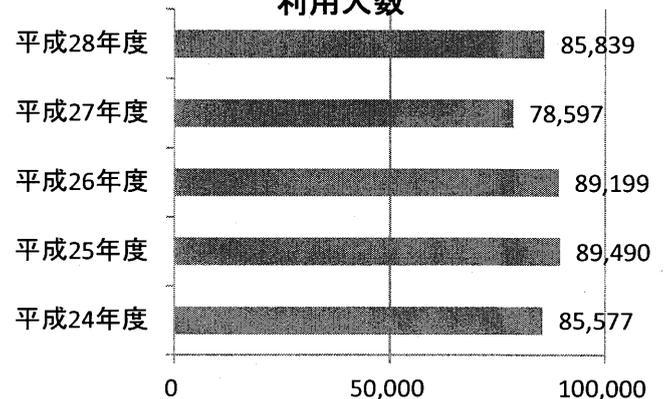
青少年教育キャンプ場
利用人数



学校体育施設 利用人数

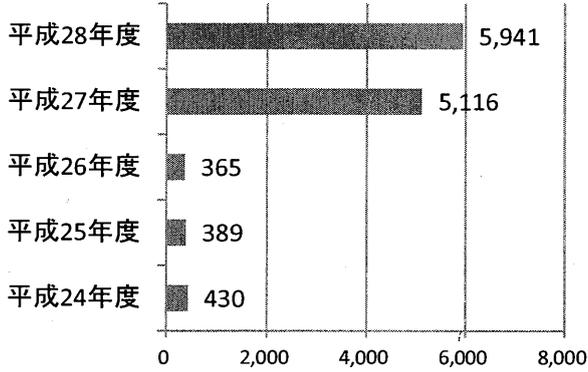


総合スポーツ公園
利用人数



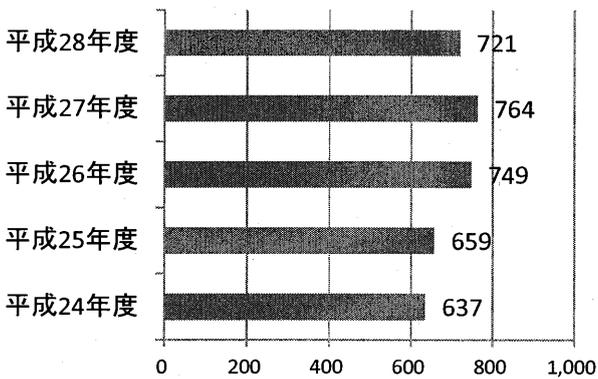
21. スポーツ事業参加状況

スポーツ教室 参加者数

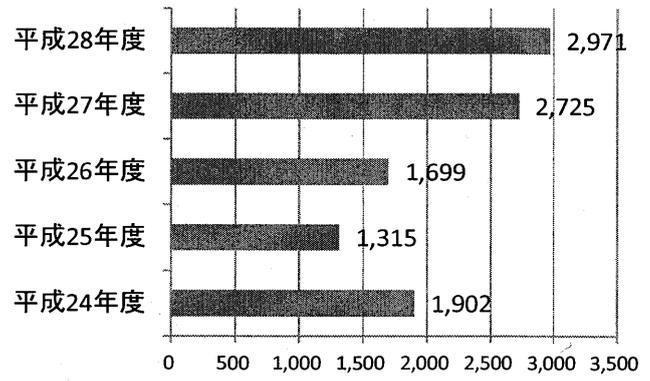


※注
 スポーツ教室は、H26年度までは、前期(10回シリーズ)・後期(10回シリーズ)の実施で、申込者数の集計。
 H27年度途中からは、各教室が通年開催(毎週1回開催)となったため延べ参加者数の集計。

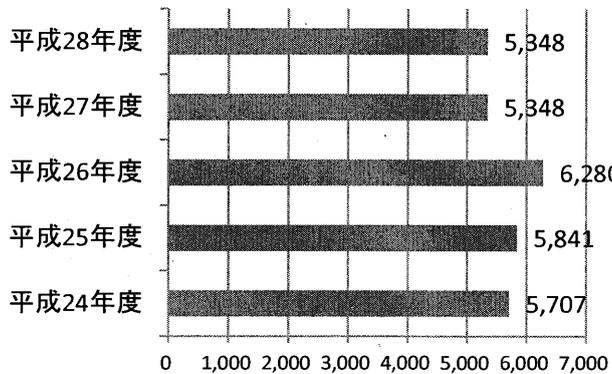
ジュニア・スポーツリーダー・ スクール参加者数



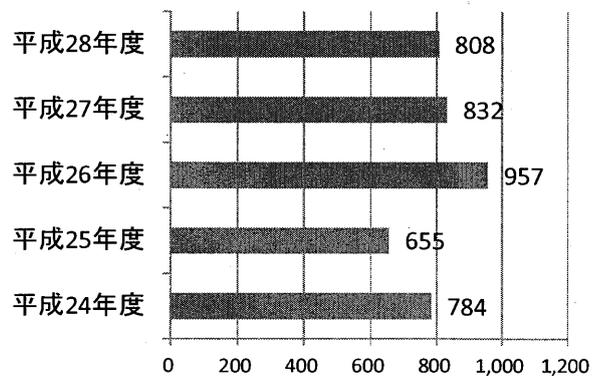
ドリームフェスティバル 参加者数



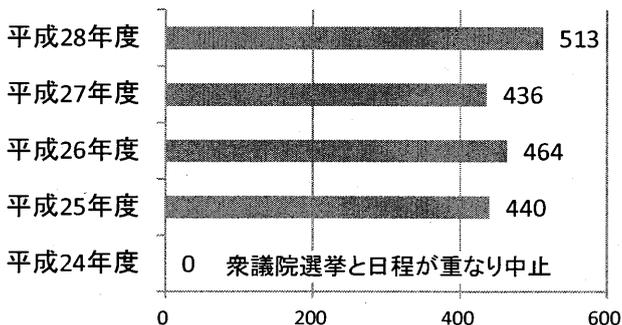
市民体育大会 参加者数



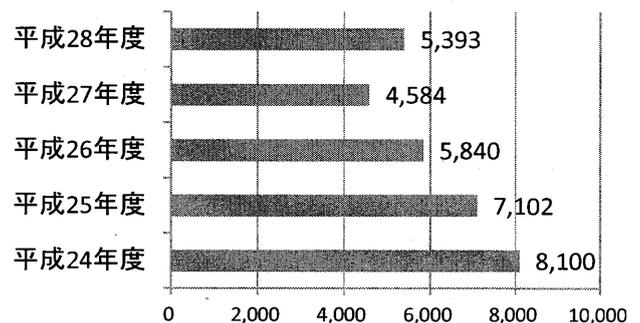
スポーツ・レクリエーション祭 参加者数



市民マラソン大会 参加者数



夏休みラジオ体操教室 参加者数



22. 施設入館者推移

単位:名

施設名	年度	24	25	26	27	28
重要文化財 旧杉山家住宅		11,843	9,326	10,973	10,533	11,060
寺内町センター		1,930	1,248	1,547	1,694	1,680
じないまち交流館		33,006	31,493	34,061	34,068	33,672
旧田中家住宅		5,728	9,688	7,902	6,916	8,188

23. 寺内町地区の修理・修景実績推移 単位:件

事業名	年度	24	25	26	27	28
富田林伝統的建造物群 保存地区保存事業		3	4	3	3	5
街なみ環境整備事業		1	0	0	0	2

24. 市内の文化財

(平成29年4月1日現在)

国指定(選定)文化財	種類	種別	名称	指定年月日	所在地
	有形文化財	重要文化財	建造物	にしこおり じんじやほんでん 錦織神社本殿 (錦織神社) 撰社春日社本殿 (錦織神社) 撰社天神社本殿 りゅうせんじ におう もん 龍泉寺仁主門 きゅうすぎやま け じゅうたく 旧杉山家住宅 とんだばやしこうしょうじ べついでんほんどう たいめんしよ しょうろう 富田林興正寺別院本堂・対面所・鐘楼 ころう さんもん おなりもん ・鼓楼・山門・御成門 つけたりつじい へい むね 附 築地塀3棟 たきだにふ とうみょうおうじ もくぞう ふ とうみょうおう 瀧谷不動明王寺 木造不動明王 及 とう じりつぞう 二童子立像	昭25. 8.29 昭44. 6.20 昭36. 3.23 昭58.12.26 平成26.9.18 昭31. 6.28
記念物	史跡名勝天然記念物(名勝)		りゅうせんじ ていえん 龍泉寺庭園	昭56. 5.11	大字龍泉888
	重要美術品(旧法)		じゅうさんじゅうとう 十三重塔	昭10. 5.20	東板持町二丁目地内
	史跡名勝天然記念物(史跡)		しんどう はいじあと つけたり 新堂廃寺跡 附 オガンジ池瓦窯跡・お亀石 こふん 古墳	平14.12.19	緑ヶ丘町の一部 大字中野の一部
伝統的建造物群	(選定)重要伝統的建造物群保存地区		とんだ はやしとんだばやしじゅうようでんとうてき 富田林市富田林重要伝統的 けんぞうぶつぐん ほぞん ちく 建造物群保存地区	平 9.10.31	富田林町の一部

国登録有形文化財	指定種別	名称	登録年月日	所在地
	建造物	くずはら けじゅうたく みなみはら べつてい しゅおく ぞう こ 葛原家住宅(南葛原 別邸) 主屋・倉庫 すぎた けじゅうたく しゅおく くら 杉田家住宅 主屋・蔵 なかうちがん か い いん 中内眼科医院 とんだばやし しりつかわにししょうがっこう きょういくれきし しりょう しつ 富田林市立川西小学校 教育歴史資料室 いわねけ じゅうたく しゅおく おくぞしき さかくら 岩根家住宅 主屋・奥座敷・酒蔵 みなみぐら にしぐら ちやしつ もんや かんごべい 南蔵・西蔵・茶室・門屋・龍塀 とうか じゅくほんかん きょうしつぞう 桃花塾 本館・教室棟 きゅうたなかけ じゅうたく しゅおく いぬいぐら 旧田中家住宅 主屋・乾蔵	平10. 4.21 平12.12. 4 平13. 4.24 平13.11.20 平20. 4.18 平27.11.17 平21. 4.28 平25. 6.21	常盤町 本町 富田林町 新家一丁目3-1 五軒家二丁目 大字喜志2067-5他 本町7-2

大阪府指定文化財	指定種別	名称	指定年月日	所在地
	彫刻	りゅうせんじ もく ぞうこんごうりき しぞう にたい 龍泉寺木造金剛力士像二軀 りゅうせんじ もく ぞう しょうたうたい しりつぞう ほか 龍泉寺木造聖徳太子立像他 じょうこくじ せきぞう じ ぞう ほ さつりつぞう 浄谷寺石造地藏菩薩立像	昭49. 3.29 昭51. 3.31 昭45. 2.20	大字龍泉888 " 富田林町7-12
史跡	に ごりてい 水郡邸		昭48. 3.29	甲田二丁目
	ひかにらや かいどうにしこおりいちりづか 東高野街道錦織一里塚		昭45. 2.20	錦織東三丁目7-1 錦織東三丁目8-2
	つづやま こ ふんおよ に ほんまつこ ふん 甘山古墳及び二本松古墳		平11. 2. 5	大字甘山20-33. 他
工芸品	たきだに ふ とう みょうおうじ こんどう ほう しゅれい 瀧谷不動明王寺金銅宝珠鈴		昭56. 6. 1	大字彼方1762
建造物	なかむら けじゅうたく 仲村家住宅		平 2. 3. 2	富田林町
有形民俗	さいごくじゅんれいせんじゅうさんど ぎょうじやかんけいしりょう 西国巡礼三十三度行者関係資料 11点(富田林組)		平 7.12.13	富田林町 7-12 (浄谷寺)
	さいごくじゅんれいせんじゅうさんど ぎょうじやかんけいしりょう 西国巡礼三十三度行者関係資料 うれしくみ 7点(嬉組)		平10. 2. 4	嬉(嬉共有)

※所在地について、個人所有は町名の表示